



ライオンズクラブ国際協会

Vol.1

333-C地区ニュース

発行

1999～2000年度

地区PR情報委員会

地区ニュース編集委員



ローズコロナドベイホテルのオープンデッキにて開かれた
次期ガバナーを励ます会で挨拶する岡野ガバナー



ライオンズクラブ国際協会
333-C地区
地区ガバナー

L.岡野 正義 (千葉LC)

ガバナースローガン

友愛と奉仕で創ろう

明日の日本 子らのため

ご挨拶

去る6月29日から7月2日の間、米国カリフォルニア州サンディエゴ市に、2万人を超える世界のライオンとその家族が集い、第82回ライオンズクラブ国際大会が華やかに開催されました。

サンディエゴ市は人口180万人の大都会ですが、米国でも最も人気のある避暑地というだけあって、美しい湾に面し、落ち着いた町並み、治安の良さ、気候のしのぎ易さと海軍基地でもありながらリゾートの条件を全て満たす素晴らしい都市でした。

この美しい湾には何千艘ものヨットが繫留され、海を見下ろす丘陵地帯には無数の豪華な別荘が建ち

ならび、アメリカの豊かさを眼に焼き付けることとなりました。

日本ももっと頑張らなければならない。そのためにはライオンズのように世界的な繋がりのある組織を通じた奉仕活動をより活発にすることによって、世界の人々に親しまれ一層の発展が許容される、より大きな存在にしなければならないと決意を新たにしました次第です。

大会では、それぞれのお国ぶりを出したパレード、ハバナナンダ国際会長のリーダーシップが発揮された開会式、333-C地区からの参加者70名が一同に会しての海辺での昼食会、新国際役員が歓呼の中に誕生した閉会式、何れも感銘深いものでした。



カリフォルニアの青い空の下、ヨットハーバーを背景にアービン新国際会長ご夫妻と記念撮影の岡野ガバナーご夫妻

また、閉会式の中で行われた加盟各国の国旗のパレードで、直近から2番目の加盟国としてカンボジアの旗が行進した時には、日本で初めての国際エクステンションを我が333-C地区がカンボジアで実現したことに思いを巡らせ胸が熱くなるのを覚えました。

この熱気溢れる大会の閉会式の最後に、アービン新国際会長より次期ガバナーに正式に任命され、責任の重大さに改めて身の引き締まる思いが致しました。

まだまだ未熟者ですが、諸先輩の輝かしい業績を受け継ぐと共に、時代の変化にも対応を計りつつ、21世紀にも引き続きライオンズクラブが存在感を持って発展して行けるよう、この一年間一所懸命頑張っています。

○国際会長の方針

アービン新国際会長は、ライオンズクラブ国際協会の奉仕活動を押し進める上で一番重要なことはしっかりとビジョンを持つことであるとされ、奉仕の新世紀へ向かってのビジョンとして、次の3つを挙げて居られます。

1. 視力ファーストのビジョン

ライオンズの奉仕活動によって、21世紀には予防可能或いは回復可能な失明をこの世から無くそう。

2. 未来へのビジョン

青少年の健全育成を計り、奉仕活動に青少年を参加させ、21世紀がより良い社会となり、奉仕活動もしっかりと続くようにして行こう。

3. 地域社会へのビジョン

地域社会のニーズに沿った奉仕活動とPR、市民参加を心掛け、或は同じような目的を持った奉仕団体とも協調し、また奉仕活動に役立つ最新のテクノロジーを受け入れ、奉仕活動の質を高めて行こう。

そして、21世紀に向けてこれ等のビジョンを行動に移し成功を収めるためには、より多くの会員増強が必要であり、今年は「一人が一人を」をスローガンとして会員増強に取り組んで頂きたい。特に女性会員の増加に務めて頂きたいと強調されています。

○地区ガバナーとしての地区運営目標

私は、我々年代は以前に比べての豊かさを享受した反面、自然破壊、公害、教育荒廃、等の負の遺産を残しかねない状況に鑑み、子どもたちの為に、少しでも美しい自然環境、社会環境、国際環境を残せるよう努めて参りたいという気持ちから、ご承知のように私はアクティビティスローガンを“友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため”と致しました。

また、アービン国際会長の方針にも沿い、具体的な運営目標を次のように致しました。

1. 楽しいクラブライフと会員増強

ライオンズクラブの活動は単位クラブが中心ですが、活発な活動も会員増強も楽しい例会が行われて居てこそ実現出来ることだと思います。

マンネリ化を避ける工夫をし、若い人にチャンスを与え、暖かく励まし、楽しい例会運営が出来たなら、きっと会員増強も実現されることと思います。

2. 視力ファーストの再認識

○アイヘルス運動

糖尿病から来る失明を予防するため、眼の検査を受けようと言う運動で、リジョンのPR情報委員の方に担当委員となって頂き、引き続き糖尿病予防策の啓蒙に努めて参ります。

○アイバンク活動への支援

地区で設立された千葉県アイバンク協会は15年に亘り失明者のために眼球を無償で提供する活動を続けて来て居りますが、献眼の実績が上がるよう、工夫すると共に必要な設備の充実にも協力して参ります。

○日本網膜色素変性症協会（JRPS）支援

千葉大学医学部眼科を中心とした、遺伝子の異常に起因する眼の難病の治療法開発を目指す団体であり、視力ファーストの趣旨にも添うので引き続き支援して参ります。

また、献血その他各種の人道奉仕活動についても引き続き鋭意努力して参ります。

3. 美しい自然環境を創ろう（水辺のクリーン作戦）

10月8～10日、美しい自然環境を残すために水辺のクリーン作戦を、なるべく市民参加の運動として展開し、国際会長方針でもある社会へのPRの機会とし、市民にライオンズの活動を認識して頂くようにしたい。

4. 青少年の健全育成

次代を担う青少年の健全育成については、既に殆どのクラブで事業を行って居りますので、それらの継続、充実に努めて頂くと共に、国際協会の指導の下に展開して居るYE活動、LEO活動の充実に心掛けます。薬物乱用防止運動についても引き続き効果的な施策の実施に努めて参ります。

5. 国際強調の重視

グローバル化する世界経済の中で、日本が引き続き繁栄して行くためには、これまで以上に世界の人々と協力して行かなければなりません。地元への奉仕が中心ではありますが、多少なりとも国際的な活動に参加することも大切であり、もし国際プログラムをお持ちでない場合は、当地区で1昨年エクステンションしたカンボジアのプロノンペン・オーパイコーンLC支援の共同ACTに参加願えれば幸いです。

6. LCIFへの協力と活用

LCの国際奉仕活動を支援するためのLCIFへの資金拠出についても引き続き協力して参ることとし、会員一人20ドルの献金、或はMJF（千ドル）献金についても推奨して参ります。

一方、LCIFの支援対象事業があれば、資金交付の申請にも取組んで見ます。

7. 新次代への対応

情報化・高齢化・女性の活躍・経済のグローバル化・低金利・等々、今や社会も大きく変化しつつありライオンズも時代の変化に対応して行く努力が必要です。そこで、キャビネットに地区運営特別検討委員会を設け、

(1) LCでのコンピューターの活用の在り方

(2) 女性・シニアの活躍する社会での会員増強の在り方

(3) クラブ・地区、等運営の合理化のための取り組み方

を中心に検討を進めて頂きます。

21世紀に向けて、少しでも良い自然環境・少しでも良い社会環境・少しでも良い国際環境を次の世代に残せるよう、皆様と共に力を合わせて頑張りたいと思いますので、どうか宜しくご協力の程をお願い申し上げます。

333-C地区 統一テーマ活動

千葉県の水辺をきれいにしようキャンペーン

水辺のクリーン作戦



地区統一テーマ活動第2弾

これまで多くのガバナーが試みて成し得なかった地区内全クラブ参加の合同アクティビティーであるが、昨年度333-C地区では笹本瞭前ガバナーの強力なリーダーシップとクラブへの拘束力を弱めた「地区統一テーマ活動」というネーミングによって「子どもたちを薬物乱用から守ろうキャンペーン」が実現された。

今年度、岡野新ガバナーはガバナー方針の3番目に「美しい自然環境を創ろう」を挙げられ、その一環として「水辺のクリーン作戦」を呼びかけられている。

ここでは岡野ガバナーからその目的とねらい、桑田地区幹事からクラブへのお願い事項、椎名地区環境保全委員長から活動の基調となる情報提供をいただく。

また、続いて「水辺のクリーン作戦」の準備のために8月7日に開催された環境保全セミナーの詳細、そして取り組みの一例として市川LCの実施計画をご紹介します。

水辺のクリーン作戦の目的

地区ガバナー L.岡野正義

アービン国祭会長は21世紀に向けての「奉仕のビジョンを持とう」として、

光へのビジョン

(LCの力でこの世から盲人を無くそう)

未来へのビジョン

(未来を担う青少年の健全育成)

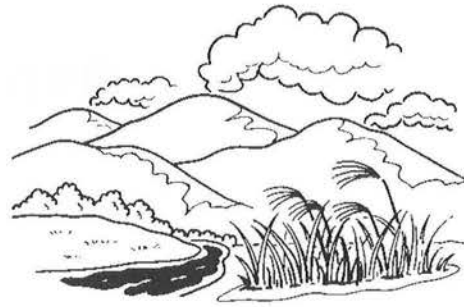
社会へのビジョン

(社会のニーズに合った市民参加の奉仕活動の展開)

と三つのビジョンを示されました。

日本も経済は大きく発展しましたが、反面自然環境の保護への配慮が手薄となり、環境問題が新たな課題として登場して居ります。

戦前には都市部でも空を覆うほど飛んでいたトンボ、いくらでも見られた蝶やメダカも殆ど見られなくなっていました。



然し、コンクリートで固められて居ない水辺をきれいにすることによって、これらの小さな生き物を呼び戻すことが出来ますし、それによって、私たち人間の住む環境も守られることにも繋がります。

美しい環境を創り守ること、それは全ての市民の願いでもあります。市民参加での水辺のクリーン作戦、それはライオンズが地域社会で最も必要としている奉仕活動の先頭に立つことを市民の方々に知って頂く機会でもあります。

各クラブにお願いしたいこと

地区幹事 L.桑田 昭

1. クラブ三役と担当委員会で早期に日程を組み、内容を詰め、理事会・例会で理解と協力体制を固めること。10月8日のライオンズ・デー当日でなくても、休日で天候の安定度の高い10月9～10日を選ぶのも一案です。
2. それに先立ち、適当な水辺を選択して置くことが必要です。池、沼、川、水田跡、等であるべくコンクリートで固められて居ない水辺、出来れば市民の親しみ易い、然も危険の少ない場所を選んで下さい。
3. 広い場所であれば幾つかのクラブが共同し、或いは場所を限定して取り組んで見て下さい。
4. 行政と連絡をとり、ゴミ袋の確保やその回収に協力を頂いて下さい。
5. 地元の小学校や、自治会への呼びかけ、ミニコミ紙や市政だよりにも協力を求めて見てはい

かがでしょうか。青年会議所等、他の奉仕団体との共同も国際本部では望んで居ります。

6. 当日の参加者にはほうき、ゴミ挟み、塵取、等の掃除用具をなるべく持参頂くとしても、クラブとしてもある程度は用意する必要があります。
7. ライオン帽、若しくは統一ジャンパー、のぼり等でライオンズクラブの行事でもあることを示すよう心がけて下さい。
8. くれぐれも危険の無いよう監視要員の配置等も心がけて下さい。保険について(検討中)
9. 適当な水辺が見当たらない場合は一般的なクリーン作戦とされても結構です。

(なお、薬物乱用防止運動については、今年は水辺のクリーン作戦終了後に、献血運動と共に実施の方向で検討中です。)

環境保全セミナー 開催

日時：1999年8月7日（土）

午後2時00分～4時30分

場所：千葉県医療センター



冒頭挨拶に立ち、市民に呼びかける岡野ガバナー

環境保全の重要性を市民に訴え、岡野ガバナーが呼びかけられている「水辺のクリーン作戦」の目的、必要性、実施方法等を地区内クラブにしらせるため標記のように環境保全セミナーが開催された。

千葉県立中央博物館の倉西先生から「環境破壊による小生物の悲鳴と休耕田を利用したビオトープのすすめ」という講演があり、引き続いてトンボ池、ホタル育成、市民参加のクリーン作戦について事例紹介、質疑応答と盛りだくさんの内容であったがそれぞれ具体的にわかりやすく経験に基づいたクラブ活動の参考になるセミナーだった。

内容は詳細を以下に掲載するが、参加者を出していないクラブも多く見られ、内容が素晴らしいただけに残念でならない。

昨年笹本ガバナーが提唱された「地区統一テーマ活動」という考え方は原則的に各クラブの参加不参加は自由ということなので、今年度もクラブ独自の活動、昨年に引き続いての薬物乱用防止、水辺でないクリーン作戦と自由な選択が出来るわけだが、ビオトープは都市部の環境保全に限らず、農村部の環境保護、環境回復にも簡単で有効な考え方であるのでぜひ全てのクラブで取り組んで欲しいと思う。

また、地域の中に大河川、海岸等が無くても公園の池や沼、小さな川はどこにでもあるはずなので、その意味でもライオンズ・デーにこだわらずクラブの活動に取り入れていただければ幸いだ。

ここでは倉西先生のご講演内容を含めて、椎名委員長にご投稿いただいた三つの題材と白子ライオンズクラブが地域に配布された文章の一部を紹介し、正木ライオンの講演内容の抜粋を掲載する。各クラブの事業推進に役立てて欲しい。

環境保全セミナープログラム

1. 「水辺のクリーン作戦」について

地区ガバナー L. 岡野 正義

2. 講演 環境保全「ビオトープ」運動について

講師： 千葉県立中央図書館 環境科学研究科
水生昆虫学 学芸研究員 倉西 良一先生



3. 事例紹介

1) 「花島池にトンボを呼ぶ」

地区環境保全・災害対策委員長

L. 椎名 益男 (千葉LC)

2) 「ホタルを育てて」

10 R・1 Zゾーン・チェアマン

L. 青木 栄治 (白子LC)

3) 「市民参加のクリーン作戦」

地区YE副委員長

L. 正木 守 (君津LC)

環境保全セミナー

集まれトンボ花島池：ビオトープ

333- C地区 環境保全・災害対策研究委員長

L. 椎名益男 (千葉LC)

千葉市花見川区に建設が進められている「千葉市花島総合公園」内に、トンボなどの野生生物を呼び戻そうという「ビオトープ計画」が千葉市と公園近隣の千葉市立花見川第4、第5小学校の連携で本格的にスタートすることになり、1997年7月19日、保護者・地域向けのビオトープ説明会が花見川第4小学校講堂で開催されました。

専門家よりもむしろトンボの保護やトンボ池に関心を持つ素人の方がよいということで私、椎名益男が千葉市から講師の要請を受けて、スライドとビデオを交えトンボのお話をさせていただきました。特に第4小学校の田野キヨエ校長先生はトンボ池の造成に深い理解を示され、自然環境の回復を祈り「オニヤンマを呼ぼう」をキャッチフレーズに、千葉市の協力の下、児童、保護者、学校みんなで努力して地域と一緒に自然と触れ合える空間を作っ



倉西先生の話を熱心に聞く子どもたち

ていきたいとおっしゃってください、非常に感激いたしました。

本計画は私が所属する千葉ライオンズクラブが全

面的に支援することになり、1998年4月30日には池づくりの第一歩「鍬入れ式」が行われました。両校の全児童470名と3月まで「トンボとなかよし委員会」(両校の4～6年生の代表18名で構成)のメンバーとして活躍した中学生10人が参加しました。

なかよし委員会の代表による決意表明に続き、松井千葉市長からスコップの贈呈、中村千葉LC会長から表にオニヤンマ、裏になかよし委員会の活動を記録した写真入り下敷きを贈呈し、鍬入れ式を終了しました。

その後、千葉市公園建設課の協力により、全校生徒とLCメンバーが泥だらけになって池づくりをしました。

1998年7月17日、待ちに待った「集まれトンボ花島池」の池びらきです。池への通水、除幕式が児童たちの手で行われ、参加者全員で池の完成を喜び合い、環境保全・トンボの観察学習がスタートしました。



既に7月9日にはビオトープ上を高飛するオニヤンマが見られ、なんと7月10日には花見川小近くに住む池びらきで決意表明した1年生の丸茂奈央ちゃんがオニヤンマを採集し学校へ持参したとのことです。トンボたちも池の完成を待っていたのでしょうか？

当日の様子は新聞・テレビ(NHK、千葉テレビ、千葉ケーブルテレビ)の取材を受けて報道されました。その後も池の周囲の草刈りや多くの人にビオトープをしってもらうための広報活動も展開しております。

1999年6月11日、学校のプールの排水・掃除の時に、児童たちとLCメンバーと一緒にプール



採取したヤゴを嬉しそうに見せるなかよし委員の子どもたち

の中にいるヤゴ取りをしました。するとなんと200匹ものヤゴがとれました。

小さなバケツの中にヤゴを集めておいたら、すぐに共食いを始めました。それをみて6年生の子が「弱肉強食だ」と叫び、すぐに数匹ずつ容器に入れ、藻と一緒に餌のイトミミズをあげることにし、子どもたち皆でヤゴを観察しながら育てました。

やがてトンボが生まれた時の1年生の女の子の作文には感動しました。

「ヤゴがトンボになったよ。はじめてだったよ。あんなに小さなヤゴからトンボがでてくるなんてすごいね。どうやってできているのかなあ。みてみたいなあ。おなかからでてくるのかなあ。はねはおりたたんでいるのかなあ。すごいね」

ヤゴを見つめ続けることで、学ばせようではなく、本当に学びたいという願いが子ども自身からうまれることがわかり、これが本当の教育なんだと思いました。

生き物との触れ合いを通して生命の大切さ不思議さを感じ、体ごと環境に触れ合い、自然に親しむことで、この子どもの時の体験が美しい環境を守り、そして理想的な自然環境をつくる大人に成長してくれるのではないのでしょうか。



トンボが生まれた直後

「集まれトンボ花島池」でのヤゴとトンボの観察会を開催

1999年7月8日(木)と7月15日(木)の両日、千葉市立花見川第4、第5小学校の「トンボと仲良し委員」のみなさんとライオンズメンバーとで「集まれトンボ花島池」を観察いたしました。

当日10匹以上のヤゴが採取され観察したところオニヤンマのヤゴに似ているので早速千葉県立中央博物館の倉西良一先生にみて頂いたところオニヤンマのヤゴであることが確認されました。この池はトンボの王様であるオニヤンマをよぼうをキャッチフレーズにしてデザインされたものですが、こんなに早くオニヤンマのヤゴが見られるとは思ってもやらず本当に驚くべきことで、まさに快挙だと思います。

トンボとなかよし委員のみなさんも私たちメンバーも観察にますます熱が入ってくるものと思います。早くオニヤンマが飛ぶ姿をみたいものです。

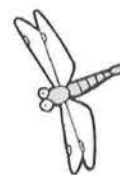
また、この集まれトンボ花島池のまわりにはコシアキトンボ、シオカラトンボ、シオヤトンボ、ショウジョウトンボの姿が見られ、15日午後4時の雨上がりにはなんとギンヤンマが1匹以上見られ、さらに偶然にもギンヤンマのオス・メスが連結産卵するところを目の前に見ることが出来て感激しました。

しかし、池の中にはブラックバス、ブルーギルがウヨウヨ泳いでいる姿もみられ、身の毛がよだちました。公園の中を市道が通っているので誰かが放流してしまうのでしょうか。LCが釣り大会でも主催して子どもたちの協力でこの魚を排除しないとヤゴがみんな食べられてしまいます。そこで、7月15日トンボとなかよし委員のみんなで池のそばに「ブラックバスやザリガニを池に入れないでください」と子どもたちの手づくり標示板を設置しました。

これほどたくさんのトンボの姿がみられ、文字通り集まれトンボ花島池となりました。おとも子どもも一緒になって協力しあいこの素晴らしい環境を守っていききたいと思います。

環境保全セミナー

休耕田を活用したトンボ池作り



ライオン誌'99年6月号30Pに「自然は人々を癒し、そして心を和ませてくれます。」と書かれておりますが、少しでも残っている自然環境を保全し、そして破壊された自然をビオトープ活動(ライオン誌'98年7月号32P)で修復して、素晴らしい自然環境を子供達に、そして更に後世に残していくことが、たった50年足らずで自然を破壊してしまった私達の罪滅ぼしであるし、義務であると思います。

日本固有の繊細な生態系で形成される自然環境の保全の問題を日本のシンボリックなトンボにこだわって考えたいと思います。





そのわけは、日本は昔「豊芦原瑞穂国（とよあしはらみずほのくに）」といい、アシがよく繁茂し、みずみずしい稲穂が穂るトンボの生息には絶好の環境だったようです。

またトンボの古い呼び名を秋津（蜻蛉）といい、日本のもう一つの国の呼び名「秋津島」に象徴されています。小さな島国のわりにトンボ相の豊かさは抜群で、日本人は昔からトンボと親しみ、愛してきたとのこと。

私の子供の頃は千葉市でもアカトンボのように沢山のギンヤンマ、オニヤンマが飛び交っていました。子供の頃にギンヤンマ、オニヤンマと遊んだ思い出をお持ちの方々が元気でいられるうちに、何とかギンヤンマ、オニヤンマの飛び交う昔の素晴らしい自然環境を少しでも復元しなければ、永久にそのチャンスを失ってしまうのではないのでしょうか。

上流に農薬がまかれたゴルフ場があると、その下流を流れる川は、水はきれいに澄んでいるのに生き物がまったくいないという本当に恐ろしい光景が見られます。小魚、小鳥、昆虫がまったく姿を消してしまう環境では最後には人間が生きていけなくなってしまうでしょう。

333-C地区（千葉県）には沢山の休耕地があるといます。谷津田は田とそれを取り巻く雑木林とがセットになって様々な生き物を育んできた里山の自然を代表する場所でした。

狭い山間にある田で農業機械の導入が困難だったために減反政策によって真っ先に耕作が放棄されてしまったのが谷津田とのこと。

耕作が放棄されるとすぐに田やその周辺には雑草が生い茂り、やがて乾燥してトンボやホタルなどの水に依存する生物が住めない環境に変わってしまいます。そしてゴミが捨てられたり建材置場になった

りして荒れたまま放置されております。

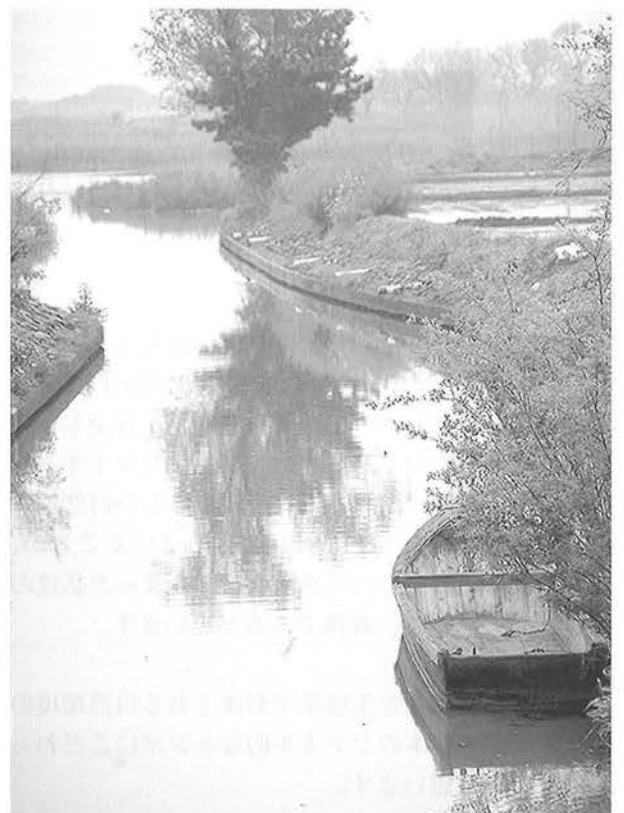
LCのメンバーが中心になり、小学生、中学生、高校生、大学生、そして一般市民の方々にも参加して頂いて労力奉仕によって、この荒れ果てた休耕地を活用してトンボ池やホタルの里を作るビオトープ活動を展開していただければ、文字通り水辺のクリーン作戦となるのではないのでしょうか。

休耕地の現状に少しだけ手を加えて、トンボが住みやすい環境に整えるのがよいのではないのでしょうか。

池を作る際も、なるべく田の形を変えないように、そして谷津田は地形の高低を上手く利用して、上の田から下の田へ水が流れるように長年の経験で作られていますから、それを活用した整備をすることがよいと思われます。

また池の中への水草の移植以外、トンボをはじめ他の生き物の移植は行わず自然に住みつくのを待ちたいと思います。そしてヤゴを食べてしまうブラックバス、ブルーギル、鯉などは決して入れないで下さい。

この休耕地を活用してのトンボ池作りの詳細については千葉県立中央博物館の倉西良一先生からご指導いただくことになっておりますので皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



ホタルを育てて

10 R・1 Z ゾーン・チェアマン
L.青木 栄治（白子LC）

季節は夏、時刻は宵の口。浴衣がけに団扇とくれば、暗闇に飛ぶ「ホタル」の光り。ホタルは昔から日本の夏の必須アイテムでした。

ホタルがカエルの声や赤トンボとともに日本人が故郷の風景のイメージとして浮かぶのは稲作（水田耕作）が広まったことと密接に関係があると思います。田のあぜ道やその周りの堤の草むらなどはホタルの格好の生息の場所であったからです。

そんな「故郷の風景」も都市化が進み、生活排水などによる川の汚染や害虫駆除のための農薬散布などによって最近では見る事が出来なくなりました。

そこで白子ライオンズクラブ環境委員会と白子町の自然環境を考える会では自分たちの手で環境に敏感なゲンジホタルを育てようということになり、1990年頃から飼育の研究試行を始めました。

会員たちの努力と試行錯誤の結果、93年6月上旬から7月中旬にかけて無数のゲンジボタルが幻想的な光の舞を見せてくれ大いに感動いたしました。

当クラブではホタルの生息環境づくりをしながら、地域の自然環境問題を考え、その保全整備に努めたいと思います。

全世界のホタルは約2,000種。そのうち日本に住むのは44種2亜種とされています。

私たちはゲンジボタルやヘイケボタルの生態から常識としてホタルは水辺の生き物と思っていますが、実は世界中のホタルのほとんどが幼虫時代を水



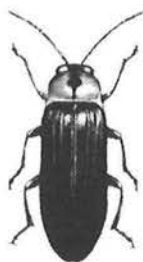
中ではなく、陸上で過ごす「陸生ホタル」なのです。逆に幼虫時代を水中で過ごすのはゲンジとヘイケ以外では世界でも2種類だけなのです。

陸生ホタルの幼虫はおもにしめった森の中や草原に住み、カタツムリなど陸生巻き貝を食べるのに対して水生ホタルはカワニナ、インドヒラマキガイなどの水生巻き貝を食べて育ちます。

これらのホタルは成虫だけでなく一般的に卵もさなぎも発光しますが、むしろ成虫になると光らなくなる種類の方が多く、光らない方を昼光性（光ではなくフェロモンのような化学物質の匂いを出し合って求愛する）と呼び、光るものを夜光性といいます。真夜中に活動する種類はフラッシュのように強く断続的に発光します。

私たちが飼育しているゲンジホタルは成虫の寿命は約14日間しかなく、少し明るさの残る午後7時頃から9時頃までの時間帯を好んで光ります。その間、メスはあまり飛ばないでオスだけ飛び回って空中を舞い明滅を繰り返します。そうして光のコミュニケーションを使って短い成虫期間に相手を選び交尾し、産卵後その生涯を終わるのです。

本会でのゲンジホタルの飼育状況を別紙に詳解しておりますので参考にしてください。また、ホタルを育ててみたい方大歓迎です。幼虫及び飼育セットありますのでご連絡下さい。



ゲンジボタル
体長12～18mm。



ヘイケボタル
体長7～10mm。

君津ライオンズクラブ 市民16500人参加の「君津クリーン運動」

地区YE副委員長
L. 正木 守 (君津LC)

1997年10月19日、君津LCが30周年記念事業の一環としていろいろなメディアを利用し広く市民に呼びかけて実施した「君津クリーン運動」は参加者数が16540人に及び「事業としての成果」「地域の中におけるLCのイメージづくり」ができただけでなく「会員が参加してよかったと思えるクラブ活動の創造と実現」また「会員に金銭的な負担の多い施しタイプ事業からの脱却」という意味でも大きな成果をあげることができた。

君津LCの従来の周年記念事業は「市民の皆さんの役に立つものを贈る」というスタンスで企画実施されてきた。これ自体、その時代には感謝されたに違いないが、逆に市民の中に「ライオンズクラブはお金持ちが施しをするところ」という実態とかけ離れた誤ったイメージをつくってしまったともいえる。

そこで今度は「地域の皆さんのご協力ご理解が得られる事業」を「地域の皆さんとともに一つになって実現しよう」との視点から「君津クリーン運動」を企画してみた。

本事業は平成8年11月から企画検討を始め、翌年2月より準備活動を開始。まず、始めたのは多方面に何度も何度も足を運び、お願いや趣旨説明を徹底的に行った。その結果、市内各地の自治会や小中学校の賛同を得ることができ、また君津市の後援を得たが、この過程はとても大変で「奉仕はさせていただくもの」という基本を思い知らされた。

それらを土台として、市の広報や地域のミニFMラジオ放送を使ったPRにより地域の皆さんに参加の呼びかけを行った。

また、21日のチャリティーフリーマーケット当日には、会場から実況ライブで放送していただき、その中で10月12日の君津ライオネスクラブ主催のチャリティーコンサートへの参加呼びかけや、10月19日の「君津クリーン運動」の趣旨説明、ラ



イオンズクラブの目的、そして市民全員への参加を呼びかけた。

そして、10月19日当日は「感動」という言葉を通り越して「驚き」という程に予想を上回る冒頭の16540人の参加者がゴミ拾いに協力してくださり、14.32トンのゴミを街の中から回収することができた。

次々に発生するいろいろな事態に一つひとつについていに対応し、みんなで額に汗したこと、親子連れでゴミを拾い集める姿などにライオニズムの本来あるべき姿を感じ大いに感動した。

この結果は、参加者数といい、内容といい、私がLCに入会して以来最も大きな事業だと胸を張っていえるものになったが、同時に苦労も多く、クラブメンバーの英知と努力の賜物であったことはいまでもない。

今年は3年目に入るが、君津市では年に一度の5月のゴミゼロ運動を10月にも行うことになり今年からは君津LCは市の事業に協力する形に変わるが、私たちののはじめた運動が行政を動かし、年中行事として定着していくことはなによりうれしいことだ。

市川ライオンズクラブ「水辺のクリーン作戦・実施計画」

会長 L. 根岸 直巳
事業委員長 L. 結城禮二郎

市川LCではクラブ事務局所在地が学区内に含まれる市川市立市川小学校（高田和正校長）に対して9月中旬にビオトープ建設費用として約40万円を贈り、千葉LCの成功例に学んで市川小PTA内に「トンボとなかよし委員会」設置を呼びかける。

建設に先立ち環境保全セミナー講師だった倉西先生のご協力を仰ぎ、児童と保護者を対象に「トンボ池」セミナーを開催し、設計・建設工事はクラブメンバーで造園業を営む岩崎隆Lの指導により研究会メンバー父子の共同作業ですすめる予定。

これと平行して学校がお休みの10月9日（土曜日）の午後1時30分から約1時間半にわたって市川小の児童・保護者とともに付近を流れる江戸川の市川側土手（JR総武線江戸川鉄橋から上流の里見公園付近までの約1km）のクリーン作戦を行う。



集められたゴミは廃棄物処理業者をお願いして当日引き取ってもらい、参加者には交通安全に有効な反射板の記念キーホルダー等を配る準備を進めている。

質疑応答抜粋



Q. クラブがビオトープ建設に取り組む時の注意事項や具体的な方法論を教えてください。

A. ビオトープづくりに決まり事はありません。その地域の環境や周辺の状況に合わせて水草などを選べばいいのです。水が流れていたり浅瀬の部分があったりすればより多くの生き物が住むことができます。ただひとつはっきりしているのは規模が大きければ大きいほど良いということです。ただし、大きくなるとブラックバスなどが放されてしまう確率が高くなります。

Q. 「ほーほーほーたる来い、あっちのみーずはーがいぞー、こっちのみーずはあまいぞー」と歌いますがホタルは本当に甘い水を好むのでしょうか？

A. 甘い水、苦い水については私も考えたことがありませんでした（笑）が、糖分をわずかに含んだ水を霧吹きでホタルにかけてやると元気になることは間違いありません。

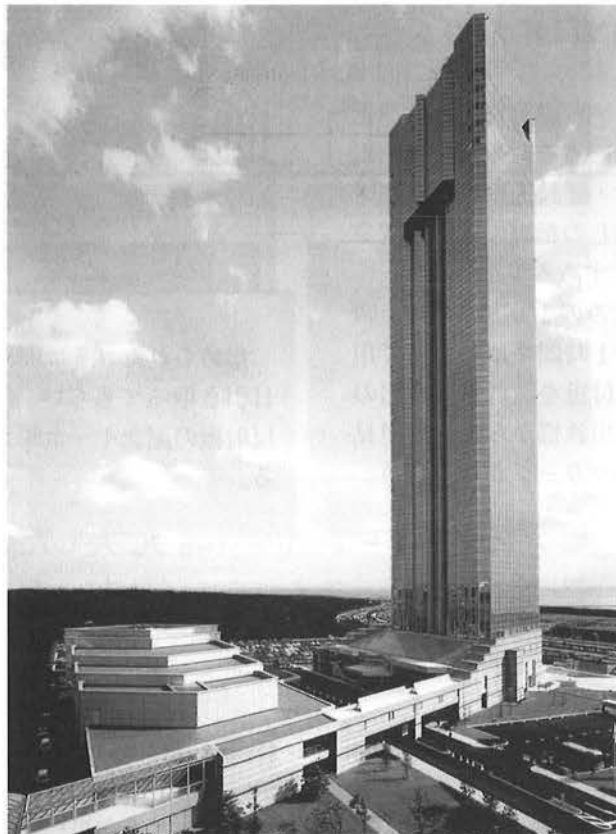
Q. ホタル、ホタルとホタルなどの特定の生き物ばかりを大事にしているのでしょうか？

A. ホタルだけのことを考えるのはかえって不自然です。自然に近い環境の中でいろいろな生物がバランス良く生息できる環境こそが大事なのです。でも気を付けなければならないのは、ホタルが帰ってきたと喜んでホタル祭りを企画した町が来訪者のために水銀灯を設置したため、ホタル同志のコミュニケーションが出来なくなり翌年は数が激減したという具合に注意深く考えなければならないことです。

*この他にも質問は多数ありましたが、詳しくは会議事録に記録されています。

MAKUHARI 2000

ビデオフェスティバル



第46回地区年次大会会場となる幕張プリンスホテル

ノストラダムスの大(?) 予言「1999年7の月」が無事過ぎ、人類はどうにか西暦2000年を迎えることを許されたようだ。つまり私たち千葉県のLC会員には2000年4月の年次大会があるということだ。

これまで一般参加者から改革の必要性が叫ばれながらただ営々と重ねられてきた準地区の年次大会であったが、昨年度笹本ガバナー率いる市川浦安CABは多くのスクラップ&ビルドを行い「歴史と伝統という壁」に大きな風穴を開けてくれた。

「あれだけスピーディーで評価の高い年次大会をやられてしまうと(!?) 次の人たちは大変だろう」と心配する声も多く、御園生年次大会委員長はさぞや大変だろうと思っていたら、5Rは人材が豊富で若

いメンバーも多くクラブ間のコミュニケーションも良好。既に数回開催された年次大会委員会では「笹本ガバナーがあれだけの改革を成功させた後なので私たちは自由な発想が出来る。この新しい流れをC地区の新しい伝統にするよう頑張ろう」という45回大会の長谷川一吉委員長や大久保博大会プロデューサーが聞いたら泣いて喜ぶような意見もでた。

久々に県都千葉市で開催される第46回年次大会

では県名とイメージのダブる「ちば」ではなく、会場となる幕張と2000年をかけて「MAKUHARI 2000」というキャッチコピーを掲げられている。

どんな大会になるのか楽しみであるが、年次大会委員会では大会のひとつの核になる「ビジュアル」を担当する「映像企画部会」からビデオ・フェスティバルというアイディアが発案された。

詳細は御園生委員長のご挨拶、映像企画部会の阿佐L、田畑Lが作ってくださった募集要項をご覧ください。

「オレは機械はダメだ」「うちのクラブには題材がない」といわれる諸兄も多いと思うが、最初から諦めないでこの新しい試みに多くのクラブ・メンバーが参加されることを心より望む。

なぜならこういう「新しい考え方を取り入れる姿勢」こそがライオンズクラブを改革し、活性化し、新しい会員を呼び込む最善の方法なのだから....

*ビデオに触ったことのない方。要項にあるように田畑Lに問い合わせればいろいろアドバイスしてくれるそうです。



ビデオ作品募集のお願い



地区年次大会委員長
L・御園生 隆



ライオンズクラブ国際協会 333-C地区第46回年次大会は2000年4月30日（日）に千葉市幕張の幕張プリンスホテルにおいて開催されます。

年次大会委員会では岡野正義地区ガバナーのスローガン「友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため」の下、今世紀最後の年次大会を各クラブの奉仕活動を総括する場として位置づけ、特に素晴らしい奉仕活動をしたクラブの活動状況の映像を上映し、大いに讃える予定です。

また、これらの映像はライオンズクラブの新人研修やアクティビティ、エクステンションの参考資料として、更には外部に対するPRに活用することもできます。

つきましては、ガバナー方針に沿った奉仕活動をしている状況を各クラブにおいてビデオ撮影した作品を、次の通り募集いたします。

奮ってのご参加を心よりお願い申し上げます。

第46回333-C地区年次大会「MAKUHARI 2000」

MAKUHARI 2000 ビデオ フェスティバル

参加クラブ・映像記録募集

2000年4月30日に幕張プリンスホテルで20世紀最後の第46回333-C地区年次大会が「MAKUHARI 2000」と銘打ち開催されます。

333-C地区年次大会委員会では、今年度各ライオンズクラブが行ったアクティビティ記録をビデオテープに編集し、当日放映することになりました。

我々ライオンズマンが行った活動を映像記録として残し、21世紀につなげるものにしたいと思いますのでどしどしご応募ください。

なお、PR情報委員会において、参加全クラブの記録を60分程度に編集したビデオも作成し、今後の活動に使用させていただく予定です。

ビデオ フェスティバル 応募要項

●応募締切日：2000年2月末日

●応募データの種類：ビデオテープ（アナログ・デジタルいずれでも可）又は写真

1ACT 5～10分間程度に編集されたビデオテープ（複数のACTを1本に編集しても可）
組写真（1ACTにつき5枚程度の写真）

※応募する1ACTにつき400字程度でクラブ名、日時、内容、目的等の説明を添付すること。
（なお、編集したビデオのマスターテープは保存しておいて下さい。）

●応募方法：佐川、やまと等の宅配便にて送付して下さい。郵送の場合は配達証明で送付のこと。
応募作品は年次大会会場受付にて各クラブに返却いたします。

●応募先：MAKUHARI2000 ビデオフェスティバル係 宛

〒260-0025 千葉市中央区問屋町1-55 シーオービル6F キャビネット事務局内
tel.043-243-2528 fax.043-247-4756

●その他：優秀作品はアワードの対象となります。

なお、PR情報委員会で作成したビデオテープを応募クラブに1本ずつ贈呈いたします。

●ビデオ制作に対するお問合せ先：L田畑 稔（千葉幕張メッセLC）

千葉市稲毛区黒砂台1-2-10（有）ビデオトラスト FAX.043-238-5044
お問合せは、ご質問内容をFAXしてください。後日、L田畑より解答させていただきます。

333-C地区年次大会委員会／333-C地区PR情報委員会

追悼・故 L 飯塚一郎 元地区ガバナー

1997～98年度333複合地区協議会議長・333-C地区ガバナー飯塚一郎L(成田LC)は、さる7月8日午後8時15分ご逝去されました。享年69才。心よりご冥福をお祈りいたします。



第44回地区年次大会式典にて
挨拶される飯塚ガバナー(当時)

元地区ガバナー

故 L 飯塚一郎を偲んで

地区ガバナー L 岡野 正義

サンディエゴでの国際大会から帰国して早々、今年度の地区名誉顧問会議長を予定されていた元地区ガバナー飯塚一郎Lご逝去の報に接し、「如何して?信じられない!」としか思われませんでした。

4月に東京医科歯科大学で手術を受けられ、暫く集中治療室に入って居られるとは同って居りましたが、もうそろそろ一般病棟に移られたものとばかり思っていました。それと言うのも、2月には青森市でハバナナダ国際会長の公式訪問、3月には仙台市でアービン国際第一副会長の公式訪問があり、飯塚一郎Lご夫妻ともご一緒させて戴いたばかりで、その折のお元気なご様子が私には強く印象に残って居りました。

私と同年、大先輩としてこれからも何かとご指導頂くべく期待して居た方、地区としても、私にとっても、大切な方を突然失い、人生の無常を唯々痛感するばかりです。

飯塚Lは1965年、成田ライオンズクラブのチャーター・メンバーとして入会されて以来、経営される事業、市議会議長としての公職、とご多忙の中にも関わらずクラブ会長を始めZC、RC、等多くの地区役員を誠実に務められ、豊かな経験、温厚なお人柄、友愛と奉仕の活動への積極的な参加、等から地区内外の信望を大きく集めて居られました。

1997～98年度地区ガバナーとして「上げよう ゆたかな知性で 真心奉仕」のスローガンの下に奉仕と友愛の輪を内外に拡げるべく熱心に活動され、加

えて333複合地区のガバナー協議会議長も務められ、地区の発展に大いに貢献されました。

特に、わが国初の国際エクステンションの快挙となりましたカンボジアのプノンペンオーバイコーンLCの設立に際しては、良くご理解を頂き、現地でのチャーター・ナイトにも出席され、関係者一同大いに感激したことが昨日のこのように思い出されます。

日本のこれからの経済発展のためにも国際親善が大切だ、或いは、ライオンズも時代の変化に取り残されないようにしなければ、と言われて居りましたが、ご指導の数々を残された我々がしっかりと行動に移して参ります。

飯塚ライオンどうか安らかに眠り下さい。

合 掌。





ライオンズインフォメーションのページ

地区PR情報委員会からのお願い

昨年度一年間、地区ニュース編集に携わって多くのクラブ関係者から「うちのクラブもいいことをやっているのに地区ニュースが取り上げてくれない」「リジョンのPR情報委員が取材してくれないから」といった不満の声があることを知った。

これらに「ご不満はごもっとも」と言いたい、私は根本的にはずれていると思う。なぜなら地区ニュースは地区会費として年間1200円をいただいている、ライオン誌のように雑誌編集の専門家が作っているのでも、地区委員会の委員が仕事として取り組んでいるのでもなく、あくまでメンバー自身が見よう見まねの素人芸ボランティアとして編集しているからだ。(かく言う委員長自身「金型屋のオヤジ」であって編集は全くの素人だ)

実際PR情報委員は地区役員初体験のメンバーが多く、地区組織の経験が少ないためリジョン・チェアマンの活動を補佐するのが精一杯。ましてPR情報委員の選考基準に「取材して記事を書けること」なんて元々ないし、そういった意味で期待されても困るのだ。

昨年度、年間最多の23記事を寄せてくださった7RのPR情報委員：高橋脩L(佐原LC)はご自分で特製投稿用紙を作られてリジョン内各クラブに呼びかけられた。

そこで今年度は高橋脩Lに倣った投稿用紙を地区ニュースにあらかじめ示す。クラブではそれをコピーして投稿に役立てていただきたい。



今年度募集する項目

1. 地区運営特別検討委員会への提案事項

今年度岡野ガバナーの方針により「明日のLCを考える」ために発足した検討委員会で検討してほしい「提案事項」「疑問に思う事項」等をどんどんお寄せください。

2. クラブアクティビティ(投稿用紙4)

例年通り特色あるクラブの事業や活動、面白い例会づくり、会員拡大成功例などをご紹介ください。(できれば写真を2~3枚添えて投稿ください)

3. 我がクラブの新入会員紹介(投稿用紙3)

今年度入会した新会員を紹介してください。(顔写真1枚)

4. クラブの名物会員紹介(投稿用紙2)

クラブ活動を盛り上げてくれる名物会員、特技をもった会員を紹介してください。

5. クラブの物故ライオンを偲ぶ(投稿用紙1)

今年度お亡くなりになったメンバーを偲ぶ記事をクラブ役員歴、地区役員歴等も添えてお寄せください。(写真1枚)

【投稿するときのお願い】

1) 投稿先は地区PR情報委員長。

宛先：〒272-0031 市川市平田2-24-4

333-C地区PR情報委員長 吉原稔貴

tel:047-326-3575 fax:047-326-6672

2) 郵送される場合、必ず封筒にご自分のクラブ名等をお書きください。

3) 写真は背景の明るいものをお選びください。

4) 紙面の都合上、いただいた記事内容を委員会側で無断変更させていただく場合がありますのであらかじめご了承ください。

今年度地区ニュース発行予定

	発行予定日	〆切予定
1号	8月25日	8月 3日
2号	11月30日	11月10日
3号	3月31日	3月10日
4号	5月31日	5月10日

投稿用紙1

物 故 L を 偲 ぶ

所 属 L C 名	
会 長 名	
物 故 L 氏 名	
クラブ・地区役員歴など	
没 日 時	
享 年	

弔辞・思い出など（物故Lの顔写真1枚を添えてください）

投稿用紙2

我がクラブの名物会員紹介

ク ラ ブ 会 長 名	
紹 介 者 氏 名	
名 物 会 員 L 氏 名	
紹 介 理 由 (スナップ写真等数枚添えてください)	

投稿用紙3

ク ラ ブ 新 会 員 の 紹 介

ク ラ ブ 名			
新 会 員 の お 名 前			
新 会 員 の 勤 務 先			
新 会 員 の 職 業 分 類			
新会員の顔写真 (3×4cm)		入会日	年 月 日

ご 挨 拶



ご 挨 拶

前地区ガバナー・
地区名誉顧問会議長
L. 笹本 瞭
(市川東)

去る、7月2日サンディエゴにおける、第82回国際大会において、333-C地区第46代ガバナーに就任されました岡野正義ライオン、誠におめでとうございます。

岡野CABの門出を祝福すると共に、ご活躍をご祈念申し上げます。

『友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため』とガバナースローガンを提唱され、地区運営目標の遂行に邁進されることと存じます。英邁なご人格、卓越した指導力豊富な岡野正義ガバナーですが、何よりもこれを支える、リジョン・チェアマンをはじめ、それぞれの役職に就かれる構成員の皆様方の、絶大なるご支援、ご協力をお願いします。

政情の不安定、経済の低迷で、ライオンズクラブの運営はますます難しくなってきましたが、なにとぞリーダーシップを発揮されますようご健闘をご祈念申し上げます。

(注) 飯塚一郎元ガバナーの死去に伴い、笹本瞭前地区ガバナーが名誉顧問会議長を兼任されます。333-C地区ではここ数年、前地区ガバナーと名誉顧問会議長は別々でしたが、それ以前は前地区ガバナーが議長を兼任していたようです。



サンディエゴローズコロナドベイホテルのテラスにて
新旧ガバナーのツーショット



地区発展のため勉強と努力

副地区ガバナー
L. 木下 務
(船橋LC)

今年度、副地区ガバナーを務めさせていただくことになりました。

大変光栄なことと思いつつ職責の重大さに身の引き締まる思いが致しております。

もとより浅学非才な私ですが、この一年間岡野ガバナーの指導監督の下、諸先輩方のご指導を賜りながら多少でも、地区発展のため生命と名誉と富とをかけて頑張っていきたいと存じます。

岡野ガバナーに置かれましては「友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため」をガバナースローガンと、7つの主要事業目標を旗印に千葉港を出港されました。

7月25日、第一回キャビネット会議も盛況の内に終了、いよいよ8月21日より内房、外房、下総とガバナー公式訪問が始まります。

卓越した知識と指導力、また意欲的な実行力は心底敬服いたしております。

しかしガバナーは重労働だと聞いております。くれぐれも、お体を大切に戴きたく存じます。不肖私、大変未熟ものですが、何らかのお役に立てればと思います。何なりとお申し付け下されば光栄に存じます。

過る6月2日、品川プリンスホテルにて、第4回、日本ライオンズ、アイヘルスのセミナーに参加し、松原国際理事(事業委員長)始め大先輩の方々の講義を拝聴し、感動いたしました。

この一年間、勉強させていただきますので、ご支援、ご協力の程お願い申し上げます。



大役をお引き受けして

地区幹事

L. 桑田 昭
(千葉中央LC)



運営のスリム化とアクトの濃厚化を目指して

地区会計

L. 塩澤 健治
(千葉LC)

この度、図らずも地区幹事という大役をお受けする事になり、責任の重大さを痛感しております。ライオンズ歴35年と馬齢を重ねて来ておりますが、考えてみますとただ在籍期間が長かったと言うだけで、ライオンズクラブに関する知識のなさに今さらながら反省している昨今です。

私は本業である建築家という職能の他に、知的障害者厚生施設の理事長という社会奉仕事業に従事して十余年になります。この間障害者のための福祉施設創設、そうして運営に対し当初から今日に至るまで、私の所属している千葉中央ライオンズクラブ、及び千葉ライオンズクラブの皆様には、筆舌に尽くせないご理解、ご支援を頂いて参りました。岡野ガバナーには理事になっていただいており、精神的に大きな支えになっております。

自分の非力をも顧みず、地区幹事という大役をお引き受けするようになったのも、日頃私の社会奉仕活動にライオンズの皆様のご支援下さっていることに対する感謝の気持ちからと、ライオンズクラブの崇高な奉仕の理念に、常に共鳴しているからです。

自己中心的風潮が蔓延する現代であって、奉仕を通して他人から感謝される喜びを感じさせて貰えることが奉仕の原点なのかとも考えております。微力ではありますが、老骨に鞭打ってでも奉仕の理念と感謝の気持ちを忘れず、一年間全力を尽くしますのでどうか皆様の絶大なるご指導、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

この度、333地区の会計(台所)を任されることになり、大変な時期に難しい大役を承り責務の重大さを痛感しております。

今期岡野ガバナーは地元銀行のNo. 2まで務められた経済通でもあり多くの社員を指導統率された経験豊かなLマンで、副ガバナー時代、自らガバナーへの道を積極的に勉強されてきました。

ですから私共、内局者全員が安心してご協力できる方と、確信しております。

ガバナースローガンも今世紀の締め括りに相応しい新鮮で誰しも希望のもてるスローガンです。

「友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため」
美しい緑の自然のままの日本、そして日本の未来の財産である子供達の健全育成など、今日の日本に最も重要かつ必要な要素であります。

21世紀の足音が近くに聞こえてくるような経済社会情勢の変化、その中におかれている各Lクラブそして、各Lメンバーも意識革命の時期に来ているかと思えます。今こそここで過去を反省し新しい道標をつくって全員参加による社会奉仕の道を歩んでいきたいものであります。

与えられた今期、無理なく無駄なく効果的に地区運営に邁進する所存でございます。非力ですが、何か一つオリジナルカラーが描けたらと願っております。全力で務めさせていただきます。岡野キャビネットに暖かい御支援、御協力の程、宜しくお願い申し上げます。



リジョン・チェアマン 今年度の方針・抱負



1 R・RC
L. 鈴木 定雄
(浦安シーサイドLC)

幸か、不幸か世紀末と言う節目の時期に就任なさった岡野ガバナーの地区運営方針に添って、今期各クラブの活動が滞りなく活発に行われていく様に、ZCを補佐して行きたいと考えています。

特に指針の中での「ライオンズクラブもコンピュータを活用したクラブ運営をしては」に同感し自分の過去の積み重ねをLCのために吐き出せたらばきっと岡野ガバナーのお役に立てるものと信じます。

急激に増加したクラブの数や会員数が減少に転じつつあるとは言え、社会情勢の変化で増加に転ずることは間違いない事と思います。

今でも繁忙を極めている地区事務局の業務は合理化し、効率化してこれ以上の経費増加を防ぎたいとガバナーがお考えになっているのも自然の理ではないでしょうか。

現在でも地区運営のための上納金の額はクラブに対してかなりの負担になってきています。岡野ガバナーの指摘はコンピュータの有効利用によりこれを防ぎたいとのお考えと理解しています。

着手はまず地区事務局に入ってくる資料を統一し、コンピュータで直ちに読める形にする事からはじめるべきです。即ち、デジタル化した資料は機械処理が容易です。

しかし、各クラブの事情は百人百様であって、一朝にして実現できるものではありません。

「21世紀だからライオンズクラブも変わらなきや」と言った軽い気持ちで取り組んでみれば、「案ずるより産むが易い」との諺のように簡単な事ではないでしょうか。

このことで、経費増に伴って地区会費の値上げを避けるばかりでなく、自分のクラブのオフィス・アワーを拡張し、デジタル化した会員台帳を装備し、必要時すぐに取り出せる様になります。

ガバナーのご指導の下で、必要な人材に参加して頂いた委員会にも、2ヶ月位を目標に努力したいと考えます。しかるべき委員会の召集をお願いします。



2 R・RC
L. 箕輪 信治
(松戸東LC)

経済の発展と共に伸びてきたLCも長引く平成不況の故か新入会員が少なく、加えて歴史を積み重ねた証明としての優待会員、終身会員の増加により徐々に体力が低下している状況にあります。

そうした中ではクラブ運営もアクティビティも必然的に従来のあり方と変えていかなければなりません。

しかし、それはややもすれば金銭ACTに偏る傾向にあったライオンズクラブの活動を見直す絶好の機会と言えます。

キャビネットの中で、クラブ訪問の中で、メンバーの皆さんと種々議論を交わしながら新しい方向を見出す年に出来ればと考えております。



3 R・RC
L. 藤井 美昭
(柏さくらLC)

R内各クラブの退会防止、会員増強に努力

この度、3RのRCの大役を拝命し、身に余る光栄と共にその責任の重大さを痛感しております。本年度ガバナースローガン

「友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため」の方針に向かって、3Rが一体となりクラブの発展に精進して参ります。

本年度抱負は、次の3項目です。

1. 既存クラブの充実
2. 奉仕活動の活性化
3. 青少年の健全育成と薬物乱用防止、YE、LEOの活動

を推進して参ります。産業を取り巻く環境は依然として厳しく、今後の景気も予断を許さない状況ですので、各クラブの退会防止は特に重点目標として取り上げ、会員増強に対しても各クラブのご努力と理解を求めガバナーの補佐役としてZ Cと協力し、各クラブの充実に積極的に活動して参る所存です。メンバー各位のご支援とご協力を衷心よりお願い申し上げます。



4 R・RC
L. 富原 啓
(習志野中央LC)

クラブにも不況対策

大分長い不況の状態が続き、各業界でも真剣にその対策に取り組んでいるようですが、各クラブでも人員の減少、A C T資金の不足等々根本的に改良しなくてはならない状況に追い込まれているように見受けられる。色々な会員から不況の現状に応じた簡素化による経費の節約、ひいては会費の値下げなど、うがった意見が聞こえてきている。

元々が社会に対して奉仕するために会員になったので、その目的を達せられれば後の儀式や、厄介な金のかかる会合などは自粛すべきではないかと思われる。そしてもっと気軽に入会できる雰囲気を作らなければ会員の減少は食い止められないのではないかな。



5 R・RC
L. 齊藤 義雄
(市原南LC)

ライオンズの誓いに「友愛と相互理解の精神を養う」とありますが、まさにメンバー同士の触れ合い、

結束は友情の一語に尽きると思います。メンバー同士が信じ合い助け合い、喜びも哀しみも共に語り合える厚い友情こそ、クラブを活性化し、その運営の根源だと信じます。日本経済の低迷と共に退会者も増加していると同っています。今こそ我々はライオンズマンの要である友情を高め、誇りと喜びを自覚しうるクラブ運営を行うためには如何にしたらよいかR Cの重責を担うに当たり模索中ですが、私なりに一案を考えましたので先輩諸兄のご意見を伺いながら実行してみたいと思っております。



6 R・RC
L. 飯塚 茂男
(成田LC)

この度リジョン・チェアマンとしてご推挙いただき身の引き締まる思いです。ガバナー方針のスローガンである

「友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため」

により一層の親睦を重ね21世紀に向かっての基礎作りに貢献して参りたいと思います。

この機会を与えて下さったクラブの皆さま、リジョンの方々のご期待に叶う努力を重ねて参りたいと思います。限られた期間、一年という賞味期限に皆さまのご支援とご協力を心よりお願いいたします。



7 R・RC
L. 柏熊 庄一
(八日市場LC)

事情あって7RのRCをお引き受けすることになりました。「リジョンレベルでの地区ガバナーの補佐」とありますが、その重責は私の想像を遙かに越

えるものと思います。

ライオンズクラブは信頼という共通な要素から成り立っていると考えます。地区ガバナーの運営方針を正しく理解し、個々のクラブが最も重要な単位であることを常に認識して、ゾーンチェアマン及びクラブ会長の活動とを結ぶ役目が私の責務と感じます。

リジョン内の諸先輩方のご指導を仰ぎ、各クラブメンバーのご理解とご協力の下に与えられた一年間、覚悟の努力をします。

ご支援をよろしくお願いします。



8 R・RC
L. 長谷川貞次郎
(君津中央)

RCを指名されまして責任の重さを感じ、僭越の念を禁じ得ません。私はCN 30年、初頭はあわたくしにも張りつめた物でしたが、今は風化が進んできた自分を思います。こんな時RC拝命は大事件です。

先の研修会では、RCの条件・義務・補佐役など改めてライオニズムの刺激がありました。クラブ日本上陸50年の歴史を背負い、時代への対応を迫られてきました。特に今、経済の低迷はクラブの運営に苦労が多いと思います。R 8クラブは各々個性ある活動を積んできました。ガバナーを軸に尊いライオンの灯が更に輝くよう社会奉仕の精神を、かき立てかき立てお世話になりたい、と思っております。



9 R・RC
L. 吉田 一夫
(館山LC)

長期に渡る不況の波が経済を容赦なく洗い流していくこの時期に、RCの大役を拝命しました。浅学な私ですが、先輩ライオンあるいは会員皆様方の寛容な心でご助言ご指導をお願いします。

ガバナーの方針に従い9 R地区役員と共にまず厳しい各クラブの実情を把握し、9 Rの伝統と先輩ライオンの名誉を汚すことのないよう努力してまいりたいと思います。

非常に困難な時期ではありますが、各ライオンのご協力とご指導を心からお願い申し上げます。



10 R・RC
L. 菅原 明
(茂原長生LC)

このたび、第10 Rのリジョン・チェアマンの大役をお引き受けし、その責任の重大さを痛感しております。岡野ガバナーの地区運営方針(1999年～2000年)に向かって10 Rが一体となり目的達成のため邁進する覚悟です。

私自身地区キャビネットの経験を活かしZC・PR情報・LCIF委員長、YE委員とともにリジョン運営に努力する所存であります。リジョンクラブメンバー各位の暖かいご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



地区委員長 今年度の方針・抱負



地区PR情報委員長
L. 吉原 稔貴
(市川LC)

今年度のPR情報委員会は昨年の関口委員長の方針を継承し、新入会員オリエンテーションビデオの制作配布、今年から役員必携に明記された地区版ホームページの開設、地区指導力育成委員会とのジョイントで指導力育成手帳の制作など新しいライオンズ活性化作戦を展開したいと考えています。

最近の一般市民は驚くほどライオンズのことを知りません。新会員獲得、事業の活性化にPR活動はとても重要です。

さて、昨年度手薄になっていた情報活動に関しては今年は地区ニュース発行を4回に戻し、各リジョンのPR情報委員の情報交換会を2ヶ月おきに開催することで従来の機能を回復させたいと思います。

昨年度、笹本ガバナーはじめ地区役員のみならずからいただいたご指導を糧に岡野キャビネットの一員としてがんばりますのでみなさまのあたたかいご協力をこころよりお願い申し上げます。



地区EXT委員長
L. 山村 政男
(千葉京葉LC)

景気は底打ちの兆しが出ていますが、失業率が上昇を続けている限り、今年もマイナス成長は避けられぬ情勢にあります。

この不況下におけるエクステンションは非常に難しい物と思います。しかし、全クラブの情報を網羅し、新クラブの誕生をお手伝いできますれば幸いと、心に期して頑張りたいと存じます。

どうぞよろしく....



地区会則会員増強委員長
L. 中村 新一郎
(千葉エコーLC)

1. 地区の会則はクラブ運営の基本ですので、会員がそれぞれのクラブに於いてクラブライフを楽しくしていくための「決まり」です。長い年月の内には会則の改正、一部省略などは必要なもので必携に目を通して運営していただくようお願いいたします。

2. クラブ運営をスムーズにし、クラブの活性化を図り、地域に密着したクラブに育てるために会員の増強を計らなければなりません。会員の確保、維持は運営の正否に関わる基本的な問題です。「各人が必ず1名を増やす」という心構えで挑んでいただきたい。

「退会防止(ゼロ・ドロップアウト)」を徹底しましょう。

最近、女性の方のみのLCが出来ておりますが、大変好ましい傾向だと喜んでおります。各LCの発展を祈ります。



地区青少年指導
国際協調交流委員長
L. 松川 正
(松戸中央)

岡野ガバナーはスローガンに「友愛と奉仕で創ろう明日の日本、子らのため」を掲げられており、私共の委員会は最も直接的に重視したい分野であるとの申し入れです。

ライオンズの青少年奉仕では一個の人間として成長発育に重点を置くべきで、その場合心身の健康、知能の発達、公德心の養成、教育の機会、職業技術の訓練という各分野での青少年のニーズを理解しなければなりません。



地区Y E 委員長
L . 石井 三郎
(富津L C)

本年度Y E 委員長を任命された富津L CのL . 石井です。10数年前委員長を務めましたが、その後ホスト家庭として関わりを持っておりますが少し不安があります。しかしY EはL Cの活動としては最も重要なA C Tの一つです。副委員長、委員の皆さんと協調と連携を取り合い事故のないよう全力で努めます。

皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



地区L E O 委員長
L . 高山 照囊
(千葉中央L C)

レオクラブは世界で5522クラブ、日本で172クラブ、千葉333 Cで9クラブです。ぜひとも333 C地区で15クラブが欲しいのです。そして333 C地区内、若い青少年に希望を持つ指導力、経験、機会、L E Oの理想が実現できるよう私共ライオンズメンバーが努力したいと思います。

333 C地区メンバーのご協力をお願いします。



地区長期計画
指導力育成委員長
L . 後藤 隆一
(柏中央L C)

世の中の景況観に好転の兆しが見えない中、種々の消極論に飲み込まれることなく、如何にしてライオンズ活動の更なる活性化を図るか。C A B役員としての大きな責任を感じております。

C地区単県独立以来すでに18年、諸先輩の努力に

より切り開かれた道を、21世紀へ向けて力強く前進できるよう、極めて微力ではありますが精一杯の努力をさせていただく所存です。



地区環境保全・
災害対策研究地区委員長
L . 椎名 益男
(千葉L C)

私たちの世代のたった50年で破壊してしまった自然を、ビオトープ活動で少しでも修復し、また現存の自然を保全するために、ゴミ、ホルモンかく乱物質などの問題も含めて自然と共生できるライフスタイルを考え出して、素晴らしい自然環境を後世に残していく義務があると思います。

また、いくつかの大震災の教訓をふまえて家庭や例会で災害について話し合ひましょう。



地区L C I F 委員長
L . 中川 都弘
(上総一宮L C)

L C I Fの目的は、地球規模の人道主義的社会奉仕がその目的であります。崇高な奉仕の精神を掲げて活動するライオンズクラブが貧困にあえぐ国々、災害で苦しむ地域及び住民。学校や病院のない国の人々が何を求めているか、を真剣に考え、すべての人々が平等に生きる権利を側面から援助させていただきたいと考える。これがライオンズの精神でありましょう。

長引く経済情勢の悪化により、クラブ財政も逼迫していると思いますが、メンバー各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



We Serve



地区薬物乱用防止
献血推進委員長
L. 美呂津 篤
(銚子中央 L C)

本年度地区薬物乱用防止献血推進委員長をお引き受けてその職務の重さを感じております。

昨年に引き続き薬物乱用撲滅「ダメ。ゼッタイ」普及運動と献血は、第45回年次大会分科会に於いて畝本前委員長より提案され採決された三項目の事業の推進に努力していく所存であります。皆様方のご指導ご協力をお願いいたします。



地区献眼視聴力保護等
社会福祉アイヘルス委員長
L. 霜 礼次郎
(千葉 L C)

本年度はライオンズクラブが中心になって創設したアイバンク協会の15周年の節目に当たります。その記念キャンペーンの一つとして以下の記念事業を行いたいと思いますので各クラブのご協力をお願いいたします。

1. アイバンク協会に角膜移植用機器購入資金を贈る
2. 記念式典、記念講演会、啓蒙キャンペーンを行う



地区 L S 委員長
L. 荻田 善男
(船橋中央 L C)

この度、ライオネス委員長を拝命しまして、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

経験浅く浅学非才ですがみなさまのご協力とご鞭撻を賜り、歴史のあるライオネスクラブの活動を拓けた将来に繋げられるように1年間努力したいと思います。各ネスクラブからは指標と方向をお教えいただき、またライオネスの皆さまの協力を仰ぎながらネス活動の昂揚を基点としたいと思います。



地区運営特別委員長
L. 田邊 誠二
(市川東 L C)

世紀末と21世紀を迎えようとしているときにライオンズクラブにとって非常に重要な節目の年であることは誰でも認識していることと思います。今期笹本キャビネットではその過渡期に遭遇し21世紀のライオンズクラブの方向付けに苦慮され次期に引き継ぐ役割を引き受けたわけです。

しかし十分にその役割を果たすことが出来ましたでしょうか。また我々内局（キャビネットを運営する機関）としては精一杯笹本ガバナーを中心に一心同体となって事務局員、里田、内藤さん両名の力も多大に戴き頑張ってやってきました。

岡野キャビネットの地区運営特別委員長として今年一年全身全霊を捧げてお手伝いしたく思っております。どうぞご協力、ご支援のほどお願いします。



地区会員大会参加委員長
L. 川崎 忠男
(下総中山LC)

第82回国際大会報告

アメリカ・サンディエゴ

1999年6月29日～7月2日

【わが国の大会参加状況】

第82回大会への日本ライオンズ参加者は約1、500名と云われている。期間中現地での登録者数を含めた正確な登録者数は秋期国際理事会で発表される。その中で日本の代議員は444名。(全世界で5,786名)

【インターナショナルパレード】

JAPANパレードの参加者は968名であり準

地区、男女・複合地区別の数字を整理してみた(下図参照)。その中で国際理事(L. 竹内淳一:334-A, L. 藤井基博:336-C)を輩出している複合地区MD334・MD336からの参加者が多いのが目立っている。MD333のパレード参加者数は97名。内訳はA地区17名、B地区33名、C地区47名(48%)であった。C地区岡野ガバナーの強い意志が感じられる。

パレード見学を含めた参加者はA地区46名、B地区63名、C地区70名。(いずれの数字も4月21日現在、各CABに問い合わせ確認されたもの)

【地区会員大会参加委員会の課題】

「各種大会の内容紹介と参加推進施策の検討(単位クラブでの予算計上、登録手続きの明示、早期連絡等)未参加者の参加推奨によりLCの連帯感の高揚を図る」

上記は委員長就任にあたっていただいた岡野ガバナーの要望事項であります。短い文章ですが凝縮さ

1999サンディエゴ国際大会インターナショナルパレード参加一覧

No	参加団体	男性	女性	小計	MD計
1	330-A	68	16	84	192名
2	330-B	19	11	30	
3	ホーム観光	25	10	35	
4	阪急交通社	4	1	5	
5	330-C	32	6	38	
6	331-A	30	9	39	79名
7	331-B	14	6	20	
8	331-C	12	8	20	
9	332-A	16	1	17	
10	332-B	15	5	20	62名
11	332-C	3	2	5	
12	332-D	1	1	2	
13	332-E	3	2	5	
14	332-F	10	3	13	
15	333-A	15	1	16	
16	糸井久夫氏	1		1	
17	333-B	24	5	29	
18	宇都宮合同	2	1	3	
19	麻野弘郎氏	1		1	
20	333-C	33	14	47	97名

No	参加団体	男性	女性	小計	MD計
21	334-A	83	34	117	208名
22	334-B	16	5	21	
23	334-B	11	3	14	
24	334-C	29	2	31	
25	334-D	1	1	2	
26	334-E	7	1	8	
27	334-E	9	6	15	
28	335-A	62	11	73	170名
29	335-B	31	5	36	
30	335-C	12	5	17	
31	335-D	32	12	44	
32	MD336	90	31	121	
33	MD337	2		2	39名
34	337-A	15	6	21	
35	337-B	4	2	6	
36	337-C	3	3	6	
37	337-D	1	1	2	
38	337-D	1	1	2	
	合計	737	231	968	968名

れた強い迫力が感じられます。このことを心してO
S E A Lフォーラムと次回国際大会のご案内をいた
します。

第33回シンガポールO S E A Lフォーラム

1999年11月4日(木)～7日(日)

1. 本部ホテル：ウェスティングフォード&ウェス
ティングプラザ

開会式：1999年11月5日(金)

会場：シンガポールインドアスタジアム

閉会式：1999年11月7日(日)

会場：オリビア&ソフィアルーム

2. フォーラムテーマ「全ての年齢の方と共に」

1999年は国連の高齢者の年であることや次
の世紀に向け高齢化を含めた諸問題を解決するた
めの対象を全ての年齢に広げた。

3. 登録料：1人95米ドル

登録〆切：1999年9月30日

(〆切以降、現地登録も可能ですがフォーラムキッ
トの全部が行き渡らないかもしれません)

その他の詳細はC A B事務局へお尋ねください。

シンガポールの街は綺麗なことで有名です。ジョ
ホール海峡を越えたオプションも楽しいものになる
でしょう。みなさんのたくさんのご参加をお願いい
たします。

第83回ホノルル国際大会

2000年6月19日～23日

(アメリカ・ハワイ州)

次回国際大会は世界有数のリゾート地ホノルル開
催です。今年のサンディエゴにも増してより楽しい
ことになりそうです。333-C地区では岡野ガバ
ナーのいわれる国際大会未参加者の参加推奨により
LCの連帯感の高揚を図りたいものです。詳細は後
日お知らせします。登録手続き等一生懸命させてい
たきます。



地区年次大会委員長

L. 御園生 隆

(千葉京葉LC)

1. 地区年次大会とは

地区大会は『地区の今後についての決議』とこれ
までやって来たことの承認』を行う代議員総会と、
その結果を地区大会に報告する大会とで構成されて
いる。

地区大会は、333-C地区年次大会議事規則に
よって行われる。

年次大会委員会は、キャビネットの指示を受けて
年次大会がその目的を果たすための設営その他に当
たる。

2. 第46回年次大会

日時 平成12年4月30日(日)

(前夜祭 4月29日)

場所 千葉市美浜区ひび野2-3

幕張プリンスホテル

登録料 5000円の予定

(ホストクラブ)

5R、第1Z・第2Z所属10ライオンズクラブ

千葉、千葉中央、千葉幕張メッセ、千葉グリーン、
千葉ネオ、千葉エコー、千葉京葉、千葉若潮、千葉
ポート、千葉ゆうきの

3. 基本方針

ガバナー岡野正義ライオンの次の方針を尊重し今
後、年次大会委員会で十分討議し具体案を作成す
る。

- 1) 楽しく、連帯感を高める大会としたい。
- 2) クラブ会長、会員の積極的な参加は勿論である
が、特に新入会員の全員参加を重視したい。
- 3) 優秀クラブを讃えたい。
- 4) 21世紀への展望をイメージしたい。
- 5) 大会の運営は、マルチメディアを活用し判りや
すくスピーディにしたい。
- 6) 無駄を省き予算を厳守。

4. 年次大会準備のプログラムなどについては、現
在具体案を作成中であり、経過報告は逐次キャビ
ネット会議で報告する。

みんなが感じている「ここが変だぞ」 「こうすればいいのに」を地区運営に活かすために —地区運営特別検討委員会発足—

7月25日の第1回キャビネット会議において岡野ガバナーから「明日のLCを考えるための特別検討委員会」設置が提案され、そのメンバーが以下のように発表された。

委員長	L. 小泉 昭 (船 橋)	地区名誉顧問
副委員長	L. 後藤 隆一 (柏中央)	地区長期計画指導力育成委員長
委 員	L. 木下 務 (船橋中央)	副地区ガバナー
	L. 箕輪 信治 (松戸東)	2 R リジョンチェアマン
	L. 斉藤 義雄 (市原南)	5 R リジョンチェアマン
	L. 菅原 明 (茂原長生)	10 R リジョンチェアマン
	L. 小山 一路 (千葉若潮)	地区総務委員長
	L. 吉原 稔貴 (市 川)	地区PR情報委員長
	L. 正木 守 (君 津)	地区YE副委員長
	L. 塚田 雅二 (佐 倉)	地区運営特別委員
	L. 植村 力子 (柏なの花)	地区運営特別委員

【第1回検討委員会開催】

その第1回会合が8月2日午後6時より岡野地区ガバナー、桑田地区幹事、塩澤地区会計の出席を得て千葉パレスホテルにて開催された。

席上挨拶に立った岡野ガバナーは検討委員会設置の背景やねらい、委員会への諮問事項3項目について述べられ「笹本ガバナーがはじめられたC地区運営改革を定着させ、さらに前進させてほしい」と呼びかけられた。

これを受けて小泉委員長から「従来の地区組織では各地のクラブ・会員から寄せられる意見を十分に検討し年度中に地区運営に反映させることが難しかった。本委員会に科せられた使命を十分に自覚し、21世紀のLCづくりのためにみんなの知恵を結集しご期待に応えたい」との決意表明があった。

後藤副委員長からは「十分な討議のために毎月1回以上の委員会開催が必要だ。検討を要する項目は多岐に渡っているので、テーマを4つ程度に分類しテーマごとにリーダーを決めて委員会をすすめたい」と活動方針が述べられた。

フリー討議では各委員から率直な意見が数多く出され委員会は2時間半程で閉会したが、次回までに検討事項をまとめて準備する宿題が出された。

第2回委員会は9月6日午後6時よりキャビネット事務局で開催の予定。

【ガバナーから委員会への諮問事項】

1. ライオンズクラブ及び地区、運営のためのコンピューターの活用のあり方について
2. ライオンズクラブに女性会員を増加させるため、並びに、シニアクラブ結成を支援するための施策について
3. ライオンズクラブ、及び地区運営のあり方、特に費用負担の合理化について





資料のページ

333-C地区現況報告

1. クラブ数及び会員数について

() 転籍 □ 死亡

年 月 日	クラブ数	会員数	入会	退会	出席率%
1998年7月1日	116	4,346	—	—	—
1999年6月30日	116	4,178	(2) 248	(3) 43 372	—
増 減	± 0	-168	—	—	—

2. クラブ活動状況について (1998年7月1日～1999年6月30日)

- (1) 金銭 A C T 2,407 件 294,381,025 円 一人当たり 70,460 円
- (2) 労力 A C T 2,244 件 134,337 時間 一人当たり 32.15 時間
- (3) 献血 A C T 450 件 8,752,700cc (内成分献血 3,247 人)
- (4) 献眼登録者数 138 名 (内会員 16 名)
- (5) 献眼者 4 名 (内会員 0 名) (財) 千葉県アイバンク協会報告による
- (6) 献腎登録者数 51 名 (内会員 0 名)
- (7) L C I F M J F 148 名 18,241,350 円
その他の献金 4,720,403 円

3. クラブ E X T について (1998年7月1日～1999年6月30日)

- (1) ライオンズクラブ
- (2) レオクラブ
- (3) ライオネスクラブ

4. レオクラブについて

年月日	クラブ数	会員数
1998年7月1日	10	201
1999年6月30日	10	208
増 減	± 0	+ 7

5. ライオネスクラブについて

年月日	クラブ数	会員数
1998年7月1日	11	223
1999年6月30日	11	224
増 減	± 0	+ 1

6. Y Eについて

(1)	1998～1999年度	冬期	派遣生	13名	受け入れ	8名
(2)	1998～1999年度	春期	派遣生	0名	受け入れ	0名
(3)	1998～1999年度	夏期	派遣生	22名	受け入れ	11名

7. 第82回国際大会

日時：1999年6月29日（火）～7月2日（金）

場所：米国 サンディエゴ

8. 第38回東洋・東南アジアフォーラム（OSEAL）

日時：1999年11月4日（木）～7日（日）

場所：シンガポール

9. 平和ポスターコンテストについて

(1) 本年度応募：キット申込 1式 \$7.95 12月1日迄

(第11回) テーマ

「平和のための新しい始まり」（仮訳：ライオン誌）



第1回キャビネット会議議事録

1999年7月25日。千葉市・ホテルニューツカモトにおいて開催されたライオンズクラブ国際協会333-C地区1999～2000年度第1回キャビネット会議の議事の結果をご報告いたします。

なお、当日の出席者及び挨拶、報告書はキャビネットはキャビネット会議資料に掲載されておりますので、同資料をご覧ください。

1999年7月25日

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区
地区ガバナー L.岡野 正義

提出議案と審議結果

I. 第1号議案 キャビネット会議及び付属会議、議事規則（99～2000年度）について
（キャビネット会議資料 P 33記載の通り）

審議結果... 提案の通り審議可決

議長は地区ガバナーとして、議事運営委員会の構成メンバーに R C・地区三役・副地区ガバナー・地区名誉顧問・各付属会議議長を選任した

II. 第2号議案 前年度決算報告承認の件（キャビネット会議資料 P22 ～ 30 記載の通り）
（本誌 P41 ～ 43 に一部記載）

審議結果... 提案の通り審議可決

III. 第3号議案 前年度会計監査報告承認の件（キャビネット会議資料 P22 ～ 30 記載の通り）

審議結果... 提案の通り審議可決

IV. 第4号議案 その他ガバナー提出議案（キャビネット会議資料 P34 ～ 35）

1. 地区会計監査委員委嘱の件

複合地区会則第 24 条 4 項により、本年度監査委員を下記の通り委嘱いたしたい。

L. 林 智樹（成田 L C）

L. 三橋 恒夫（船橋 L C）

審議結果... 提案の通り審議可決

2. キャビネット会計の業務執行に伴う担保提出についてはこれを免除致したい。

審議結果... 提案の通り審議可決

3. 地区費 550 円、地区特別会費 100 円、地区ニュース負担金 100 円、地区大会費 100 円、地区特別大会費 100 円、（いずれも会員一人当たり月）については、当面従来通りの金額で提出頂く件

審議結果... 提案の通り審議可決

4. Y E、L E O 等、青少年健全育成活動支援を目的とする青少年育成資金として、従来通り会員一人当たり年間 2,000 円の提出をお願いの件。

審議結果... 提案の通り審議可

5. L C I F への協力依頼について

(1) L C I F 強化のため、出来うれば会員一人当たり \$ 20 以上の献金を各クラブをお願い致したい。

(2) M J F 献金への理解とご協力についても引き続き各クラブをお願い致したい。

審議結果... 提案の通り審議可決

6. 世界ライオンズ奉仕デーについて

10月8日の世界ライオンズ奉仕デーには、各クラブ任意参加によるキャビネット統一奉仕活動として、“水辺のクリーン作戦”を実施したい。

審議結果... 提案の通り審議可決

7. 本年度アワード規定について別項の通り定めると致したい。

審議結果.... 提案の通り審議可決

8. 333-C地区年次大会については既発表の通り、下記の通り実施致したい。

年月日 2000年4月30日(日)

場所 千葉市 幕張プリンスホテル

審議結果.... 提案の通り審議可決

9. 本年度キャビネット会議及び付属会議、議事規則ならびに旅費規程・慶弔金規定を別記の通り(従来通り)定める。(資料P36)

審議結果.... 提案の通り審議可決

10. 時代の変化に対応し、これからのライオンズ活動の在り方などについて衆知を集めて検討するため、ガバナー諮問機関として地区運営検討委員会を設けることとし、その委員は主としてキャビネット構成員の中からガバナーが委嘱する。(本誌P32参照)

審議結果.... 提案の通り審議可決

11. 地区緊急災害援助資金の運用委員会委員の指名について。

下記の通り指名したい。(◎は委員長 ○は副委員長)

◎L.岡野 正義(地区ガバナー)

○L.桑田 昭(地区幹事)

L.塩澤 健治(地区会計)

L.鈴木 定雄(1R・浦安シーサイド)

L.箕輪 信治(2R・松戸東)

L.藤井 美昭(3R・柏さくら)

L.富原 啓(4R・習志野中央)

L.斉藤 義雄(5R・市原南)

L.飯塚 茂男(6R・成田)

L.柏熊 庄一(7R・八日市場)

L.長谷川貞次郎(8R・君津中央)

L.吉田 一夫(9R・館山)

L.菅原 明(10R・茂原)

審議結果.... 提案の通り審議可決

12. 地区アクティビティ資金の運営委員会委員の指名について

下記の通り指名いたしたい。

●リジョン推進委員

L.鈴木 定雄(1R・浦安シーサイド)

L.箕輪 信治(2R・松戸東)

L.藤井 美昭(3R・柏さくら)

L.富原 啓(4R・習志野中央)

L.斉藤 義雄(5R・市原南)

L.飯塚 茂男(6R・成田)

L.柏熊 庄一(7R・八日市場)

L.長谷川貞次郎(8R・君津中央)

L.吉田 一夫(9R・館山)

L.菅原 明(10R・茂原)

●特命委員

(3年目委員)

L.鈴木 行正(千葉京葉)

L.浮谷 俊行(松戸)

L.笹本 瞭(市川東)

L.秋本 晴司(松戸)

L.中 良一(船橋中央)

L.川崎 忠男(下総中山)

(2年目委員)

L.吉田 政勝(習志野)

L.長島 彪(佐原)

L.米本 隆二(市川)

L.江畑 耕作(旭)

L.田邊 誠二(市川東)

(1年目委員)

L.小泉 昭(船橋)

L.鈴木 利一(船橋中央)

L.桑田 昭(千葉中央)

L.林 静誠(船橋中央)

L.渡辺 淳(習志野)

L.塩澤 健治(千葉)

審議結果... 提案の通り審議可決

13. 千葉県青少年育成基金の役員の指名について

下記の通り指名したい。

●理事会

会長(理事) L.岡野 正義(千葉)

理事長 L.江畑 耕作(旭)

理事 L.浮谷 俊行(松戸) L.飯塚 一郎(6R・成田)

L.鈴木 利一(船橋中央) L.林 静誠(船橋中央)

L.田中 成章(野田) L.桑田 昭(千葉中央)

L.芳野 幸男(柏) L.石井 三郎(富津)

L.寺井 喜一(銚子) L.山田 勉(大網白里)

L.林 智樹(成田)

L.高橋 章(船橋中央) L.塚田 裕也(柏グリーン)

L.中 良一(船橋中央) L.近藤 幸治(船橋東)

●運用委員会

千葉県青少年育成基金運用委員会については今年度リジョンチェアマン、地区青少年指導委員長、地区YE委員長、地区LEO委員長、地区ガバナー、地区幹事、地区会計を指名したい。

審議結果... 提案の通り審議可決

14. アイヘルス運動は糖尿病教育啓蒙活動の一環として継続するものとし、各リジョンのPR情報委員をアイヘルス委員として指名致したい。

審議結果... 提案の通り審議可決

V. 第5号議案 1999～2000年度 地区一般会計予算案、地区青少年活動育成資金会計予算承認の件(本誌P44～45)

審議結果... 提案の通り審議可決

付属会議報告

A. リジョンチェアマン会議（議長 L. 岡野正義・地区ガバナー）

- （１）ライオンズデーの各クラブ任意参加によるキャビネット統一奉仕活動として「水辺のクリーン作戦」を各クラブに浸透させていくよう努力する。
- （２）会員増強運動への努力。女性会員増加、或いは女性・シニアクラブのEXTを推奨していく
- （３）東洋東南アジアフォーラムへの参加呼びかけ
- （４）次年度副地区ガバナー候補者の推薦依頼

B. ゾーンチェアマン会議（議長 L. 笹本 瞭・前地区ガバナー・名誉顧問会議長）

- （１）市民参加の「水辺のクリーン作戦」の実施要請
- （２）会員増強への努力要請
- （３）東洋東南アジアフォーラムへの参加要請
- （４）マンスリーレポートの様式変更に伴う、付属用紙「クラブ活動状況報告」の制定とその送付について、趣旨徹底依頼
- （５）ガバナー公式訪問日程表の早期提出依頼
- （６）ZCより要望事項
 - シニアクラブ等、EXTに関わる地区の助成金を拡大して頂きたい
 - カンボジア・プロジェクトへのLCIF資金交付申請について、また地区アクト資金からの助成についてそれぞれご指導ご協力を願いたい

C. 委員長・委員会議（議長 L. 中村新一郎・地区会則会員増強委員長）

- （１）各委員長から抱負等の発表あり
- （２）地区環境保全・災害対策検討委員長より1999年8月7日（土）14時より、千葉市・千葉県医療センターに於いて環境保全セミナーを開催する旨、報告と協力要請があった。
- （３）地区献眼・視聴力保護等社会福祉・アイヘルズ委員長より視力ファースト運動の実効を挙げるため、次の要望が提出された。

アイバンク協会について

○献眼の実績を挙げるため、感謝状の裏面に家族の同意を予め頂くようにすべく手配中なので、この趣旨の徹底についてキャビネットでも協力いただきたい

○献眼の実効を高めるために、検査機器（400万円）の購入を希望している。LCIF並びに地区アクト資金からの支援が頂けないか

JRPSについて

○研究助成も進展しており、2002年には千葉で世界大会も予定されている。地区アクト資金からの助成を頂けるようお願いしたい

D. PR情報委員会（議長 L. 吉原稔貴・地区PR情報委員長）

- （１）今年度委員会重点目標
- （２）地区ニュース発行予定とその内容について
- （３）地区ホームページ作成予定について
- （４）アイヘルズビデオ「あなたの目、健康ですか」鑑賞

- E. YE委員会議 (議長 L. 石井三郎・地区YE委員長)
 (1) 地区YE活動20周年を記念して、活動記録の記念誌を作りたい
 (2) YE委員会に予算をつけて貰いたい
- F. LEO委員会議 (議長 L. 高山照襄・地区LEO委員長)
 (1) カンボジアやネパールなどへの海外研修を検討願いたい
 (2) 各リジョンにLEO委員を選出して欲しい
 (3) LEOのOB会を作りたい
- G. LS委員会議 (議長 L. 荻田善男・地区LS委員長)
 (1) 8月1日(日)ライオネス三役連絡会議の案内
 (2) 10月17日(日)複合地区ライオネス・フォーラムの案内
 (3) 昨年度複合地区年次大会でのLSクラブ活性化マニュアルの発表
- H. 地区年次大会委員会議 (議長 L. 御園生隆・地区年次大会委員長)
 (1) ビデオフェスティバルを行いたいので地区行事としてご支援頂きたい
 タイトル MAKUHARI 2000
 ビデオ フェスティバル
 募集締切日 2000年2月末日
 募集内容 本年度ガバナー方針に沿った各クラブのACTを
 5～10分でビデオ撮影したもの
 送付先 キャビネット事務局 ビデオフェスティバル係
 アワード 優秀作品はアワードの対象とする
 (2) 年次大会の最後に女性ライオン及びライオネス合同のコーラスを行いたい

議事運営委員会議

出席者 地区ガバナー、副地区ガバナー、地区幹事、地区会計、RC10名
 名誉顧問12名、前期以外の各付属会議議長6名、書記・地区総務委員長

各付属会議報告

各付属会議議長よりそれぞれ会議の概要につき報告した

要望事項については地区ガバナーより次の通り対処する旨発言し一同これを了承した

(1) EXTに対するキャビネットの支援増額依頼の件(ZC会議)

新設の地区運営特別検討委員会での検討課題と致したい

(2) 視力ファースト運動への支援について(委員会会議)

家族の同意取り付けておくことについては地区として取り組む

アイバンクの機器購入についてLCIF資金導入については担当委員長と協力して取り組む

アイバンク及びJRPSについて地区アクト資金からの支援要請については折を見て当該機関に取り次ぐ

- (3) カンボジア・ネパールへのレオ生派遣の実施について（LEO委員会）
予算の面で千葉県青少年育成基金からの支援がいただけるよう要請し実現に努力したい
- (4) 各リジョンにLEO委員不在の件（LEO委員会）
現在LEO委員不在の第1・第6・第9・第10について、当面各リジョンのPR情報委員にLEO委員を兼務していただくことで対処したい
- (5) ビデオ・フェスティバルの実施について（年次大会委員会）
提案の通り実施することと致したい

全体会議の再開

議事運営委員会議報告

議長より議事運営委員会議の状況を報告し、提案についてはそれぞれ上記のように対処する旨説明し、特にビデオ・フェスティバルについては実施することとし、具体案を検討の上通知することとした
また、水辺のクリーン作戦についての質疑が行われた

付属会議提出議案採決

第1・第6・第9・第10リジョンのPR情報委員にLEO兼務を委嘱する件

審議結果.... 提案の通り審議可決

委員長報告

議長より、特に報告事項のある委員長は申し出されたい旨諮り

○PR情報委員長より、地区ニュース編集定例会議を偶数月の第1月曜日6:00PMよりホテルニューツカモトにて開催予定と報告

○会員大会参加委員長より、東洋東南アジアフォーラムと、ハワイでの国際大会への参加要請が行われた

○地区環境保全・災害対策研究委員長より8月7日に開催される「環境保全セミナー」への参加要請が行われた

議決事項の確認

地区幹事 L. 桑田 昭より第一回キャビネット会議における議決事項の確認が行われた

決 算 報 告 書

会 計 報 告 書

I. 一般会計 (1998 年 7 月 1 日～1999 年 6 月 30 日)

収入の部

単位 円

科 目	予 算 額	実 績	実 績 比 率	備 考
前 期 繰 越 金	9,254,544	9,254,544	100・00	
地 区 会 費	28,683,600	28,769,400	100・30	
地区特別運営費	5,215,200	5,230,800	100・30	
地区ニュース負担金	5,215,200	5,208,000	99・86	
雑 収 入	700,000	802,366	114・62	
合 計	49,068,544	49,265,110	100・40	

支出の部

単位 円

科 目	予 算 額	実 績	実 績 比 率	備 考
ガ バ ナ ー 費	2,000,000	1,891,695	94・58	
会 議 費	4,700,000	4,920,661	104・69	
地 区 委 員 会 費	1,200,000	868,324	72・36	
贈 呈 費	2,500,000	2,414,558	96・58	
研 修 費	3,200,000	2,417,000	75・53	
広 報 費	7,600,000	5,854,227	77・03	
旅 費 交 通 費	2,300,000	2,087,760	90・77	
人 件 費	9,500,000	9,006,173	94・80	
福 利 厚 生 費	1,100,000	1,113,958	101・27	
通 信 費	1,500,000	1,363,886	90・93	
印 刷 費	2,800,000	2,606,099	93・07	
事 務 所 費	2,100,000	2,092,176	99・63	
光 熱 費	160,000	140,120	87・58	
什 器 備 品 費	160,000	0	0・00	
リ ー ス 費	950,000	795,957	83・78	
事 務 用 品 費	700,000	649,231	92・75	
慶 弔 交 際 費	1,100,000	796,000	72・36	
分 担 費	550,000	520,800	94・69	
雑 費	800,000	1,102,425	137・80	コンピューター ソフト代
予 備 費	4,148,544	0	0・00	
小 計	49,068,544	40,641,050	82・83	
次 年 度 繰 越 金	—	8,624,060		
合 計	49,068,544	49,265,110	100・40	

II. 年次大会会計 (1998年7月1日～1999年6月30日)

収入の部

単位 円

科 目	予 算 額	実 績	実 績 比 率	備 考
前 期 繰 越 金	10,376,398	10,376,398	100・00	
地区大会費・地区特別大会費	10,320,000	10,461,600	101・37	
登 録 料 ・ 大 会	8,000,000	6,576,000	82・20	1,644 名
登録料・L S・L レディ	300,000	260,000	86・67	104 名
登 録 料 ・ 前 夜 祭	3,000,000	3,020,000	100・67	
雑 収 入	100,000	159,446	159・45	
合 計	32,096,398	30,853,444	96・13	

支出の部

単位 円

	科 目	予 算 額	実 績	実 績 比 率	備 考
総務関係	事 務 所 費	1,600,000	1,151,099	71・94	
	会 議 費	1,000,000	982,285	98・23	
	印 刷 事 務 用 品 費	1,300,000	834,543	64・20	
	通 信 費	500,000	181,340	36・27	
	旅 費 交 通 費	500,000	488,280	97・66	
	ア ワ ー ド 費	2,000,000	1,982,992	99・15	
	広 告 宣 伝 費	100,000	105,000	105・00	
	交 際 接 待 費	100,000			
	フ ォ ー ラ ム 費	800,000	538,250	67・28	
	雑 費	120,000	22,600	18・83	
	小 計	8,020,000	6,286,389	78・38	
大会運営関係	総務・記録部会費	400,000	349,650	87・41	
	前夜祭部会費	3,000,000	3,389,839	112・99	
	登録・受付・救護部会費	1,000,000	973,802	97・38	
	式典・会場部会費	4,500,000	5,417,662	120・39	
	広報・記念誌部会費	2,500,000	1,668,975	66・76	
	食料・飲料部会費	3,000,000	2,775,480	92・52	
	アトラクション部会費	500,000	100,000	20・00	
	交通部会費	200,000	144,749	72・37	
	案内接待部会費	100,000	0		
	ラッキーカード部会費	800,000	0		
	雑 費	200,000	0		
	小 計	16,200,000	14,820,157	91・48	
	計	24,220,000	21,106,546	87・15	
	予 備 費	7,876,398	0		
	次 年 度 繰 越 金		9,746,898		
	合 計	32,096,398	30,853,444	96・13	

III. 青少年育成資金会計

(1998年7月1日～1999年6月30日)

収入の部

単位 円

科 目	予 算 額	実 績	実 績 比 率	備 考
前 期 繰 越 金	7,976,988	7,976,988	100・00	
青 少 年 育 成 資 金	8,692,000	8,692,000	100・00	
雑 収 入	0	285,534		
合 計	16,668,988	16,954,522	101・71	

支出の部

単位 円

科 目	予 算 額	実 績	実 績 比 率	備 考
1. 青 少 年 関 係	2,500,000	1,624,018	64・96	
青 少 年 育 成 資 金	1,000,000	226,000	22・60	
青 少 年 弁 論 大 会	500,000	464,577	92・92	
サ マ ー キ ャ ン プ	1,000,000	933,441	93・34	
2. レ オ ク ラ ブ 関 係	2,300,000	2,254,994	98・04	
レ オ ク ラ ブ 助 成 金	1,000,000	1,045,000	104・50	
レ オ ク ラ ブ 研 修 会 費	1,200,000	1,075,391	89・62	
委 員 会 費	100,000	134,603	134・60	
3. Y E 関 係	2,800,000	2,286,180	81・65	
派 遣 生 助 成 金	600,000	411,166	68・53	
派遣生受入オリエンテーション	1,200,000	1,072,905	89・41	
ホストファミリー研修助成金	350,000	223,629	63・89	
Y E ・ O B 会 議 関 係	50,000	74,805	149・61	
情 報 交 換	200,000	336,000	168・00	Y E 派遣受入レ
委 員 会 費	300,000	167,675	55・89	ポ ー ト 集 作 成
国 際 接 待 費	100,000	0	—	
4. 雑 費	100,000	84,499	88・50	
計	7,700,000	6,253,691	81・22	
予 備 費	8,968,988	7,770,854	86・64	薬害キャンペーン
小 計	16,668,988	14,024,545	84・14	
次 年 度 繰 越 金	—	2,929,977	—	
合 計	16,668,988	16,954,522	101・71	

1999-2000 年度予算書

一般会計予算書

(1999年7月1日～2000年6月30日)

収入の部

単位：千円（未満切り捨て）

科 目	予 算 額	前年度予算額	前年度決算額	備 考
前年度繰越金	8,624	9,254	9,254	
地区会費	27,574	28,683	28,769	6月末会員数 4,178人
地区特別運営費	5,013	5,215	5,230	
地区ニュース負担金	5,013	5,215	5,208	
雑収入	600	700	802	
合 計	46,824	49,068	49,265	

支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	前年度決算額	備 考
ガバナー費	1,800	2,000	1,891	公式訪問、ガバナー会議、国際関係、複合地区関係、他
会議費	3,800	4,700	4,920	CAB会議1回、名誉顧問会議、RC・ZC会議、財務会計監査、内局会議、他
地区委員会費	800	1,200	868	LEO、LS委員会費、他
贈呈費	2,500	2,500	2,414	バナー、バッジ、ゴング、バーストバッジ、構成員記念品、結成記念品、他
研修費	2,800	3,200	2,417	RC・ZC・PR委員への助成金、新LC結成助成金
広報費	7,300	7,600	5,854	地区ニュース印刷代、発送費、会議費、取材費、他
旅費交通費	1,800	2,300	2,087	CAB会議MD会議、国際関係、他
人件費	9,600	9,500	9,006	職員3名の給料、賞与、諸手当、中退金掛金、通勤手当、他
福利厚生費	1,000	1,100	1,113	雇用保険、他
通信費	1,300	1,500	1,363	諸通信費用、電話料金
印刷費	2,700	2,800	2,606	CAB会議資料、その他の印刷物
事務所費	2,100	2,100	2,092	事務所賃料、共益費、駐車料
光熱費	160	160	140	電気、ガス、水道の使用料
什器備品費	150	160	0	小額物品費（事務用品以外）
リース費	900	950	795	ワープロ、FAX、コピー、印刷機、保守料
事務用品費	700	700	649	事務所消耗品費、コピーチャージ
慶弔交際費	900	1,100	796	CN、周年行事の祝金
分担費	550	550	520	10円×12ヶ月×会員数（MD 333）
雑費	500	800	1,102	その他上記の科目に属さない小額な費用、胸章
小 計	41,360	44,920	40,641	
予備費	5,464	4,148		
次年度繰越金	0	0	8,624	
合 計	46,824	49,068	49,265	

青少年育成資金会計予算書

(1999年7月1日～2000年6月30日)

収入の部

単位：千円（未満切り捨て）

科 目	予 算 額	前年度予算額	前年度決算額	備 考
前年度繰越金	2,929	7,976	7,976	
青少年育成資金	8,356	8,692	8,692	6月末会員数 4,178人
雑収入	0	0	285	
合 計	11,285	16,668	16,954	

支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	前年度決算額	備 考
1. 青少年関係	3,300	2,500	1,624	
青少年育成費	1,000	1,000	226	各種青少年の協力金、その他
青少年弁論大会	500	500	464	333-C地区・千葉県高等学校弁論大会
サマーキャンプ	1,800	1,000	933	YE・LEO、青少年合同サマーキャンプ
2. レオクラブ関係	2,300	2,300	2,254	
レオクラブ助成金	1,000	1,000	1,045	新クラブ結成助成金、既存クラブ運営助成金
レオクラブ研修会費	1,200	1,200	1,075	春期研修会
委員会費	100	100	134	会議費、調査費等
3. YE関係	3,250	2,800	2,286	
派遣生助成金	600	600	411	
派遣受入オリエンテーション	1,200	1,200	1,072	含冬季来日生歓迎会及び研修
ホストファミリー研修助成金	350	350	223	
YE・OB会議関係	200	50	74	
情報交換	100	200	336	
委員会費	300	300	167	
国際接待費	100	100	0	
記念誌費	400			
4. 雑費	100	100	88	
小 計	8,950	7,700	14,024	
予備費	2,335	8,968	7,770	
次年度繰越金	0		2,929	
合 計	11,285	16,668	16,954	

地区行事予定表

(1999年7月1日～12月31日)

月	日	曜	行 事	備 考
7	2	金	第82回国際大会閉会式	アメリカ・サンディエゴ
	11	日	地区YE・LEO・青少年合同サマーキャンプ最終打合せ	千葉市・千葉県労働者福祉センター
	12	月	1998～99年度会計監査	千葉市・CAB事務局
	21	水	市川CABとの事務引き継ぎ	千葉市・東天紅
	24	土	地区名誉顧問会議・第1回CAB会議運営予備会議	千葉市・ホテルニューツカモト
	25	日	第1回キャビネット会議	千葉市・ホテルニューツカモト
8	7	土	地区環境保全セミナー	千葉県医療センター
	8	日	8日～10日 地区YE・LEO・青少年合同サマーキャンプ	小見川町・小見川少年自然の家
	11	水	333複合地区 第1回ガバナー協議会	上野精養軒
	11	水	11～13日CAB事務局夏期休暇	
	21	土	地区ガバナー公式訪問スタート	
	29	日	YE冬期派遣生選考会	千葉市・千葉県労働者福祉センター
9	10	金	第8回献血推進研究会	千葉市・ホテルスプリングス幕張
	12	日	YE夏期派遣生帰国報告会	千葉市・千葉県労働者福祉センター
	19	日	YE夏期受入家庭報告会	千葉市・千葉県労働者福祉センター
10	16	土	山田町LC 10周年	
11	4	木	4日～7日 第38回東洋東南アジアフォーラム	シンガポール
	12	金	地区ガバナー公式訪問終了	
	20	土	第2回キャビネット会議	千葉市・千葉県労働者福祉センター
	21	日	船橋グリーンLC 5周年	

その他

「クラブ活動状況報告書」については「月例会員報告書」に添付し、下記に報告願います。

キャビネット事務局（地区ガバナー）、RC、ZC、リジョンのPR情報委員

（キャビネット事務局よりの地区の集計表を、全地区ガバナー、副地区ガバナー、名誉顧問会議長、名誉顧問、RC、ZC、地区委員会、各ライオンズクラブへ送付します。）

国際本部、及び複合事務局には「月例会員報告書」のみ送付して下さい。

ガバナー公式訪問日程表

(1999～2000)

月	日	曜	R	Z	クラブ数	ク　ラ　ブ　名
8	21	土	1	1	4	市川・市川東・下総中山・市川北
	27	金	1	2	4	浦安・行徳・浦安シーサイド・浦安中央
	28	土	2	1	5	松戸・松戸中央・松戸ユウカリ・松戸南・松戸グリーン
	29	日	2	2	4	流山・松戸東・野田・関宿
9	4	土	3	1	4	柏・我孫子・印西・柏さくら
	5	日	3	2	4	柏中央・柏グリーン・柏オーク・柏なの花
	9	木	4	1	6	船橋・船橋中央・船橋ポート・船橋グリーン・船橋さざんか・船橋シニア
	12	日	4	2	6	船橋東・鎌ヶ谷・船橋京葉・沼南・船橋北・白井
	18	土	4	3	4	習志野・八千代・習志野中央・八千代東
	19	日	6	1	8	成田・酒々井・成田グリーン・成田平成・富里・下総・栄・成田エアポート
	25	土	6	2	5	佐倉・四街道・八街・八街グリーン・佐倉中央
	26	日	7	2	6	八日市場・総武中央・多古・大栄・栗源・光
10	3	日	7	1	5	銚子・佐原・東庄・神崎・銚子中央
	6	水	7	3	6	旭・飯岡・干潟・山田・海上・銚子ウェストポート
	11	月	8	1	4	木更津・木更津中央・袖ヶ浦・木更津金鈴
				2	4	富津・上総・君津・君津中央
	16	土	9	1	5	館山・鋸南・館山中央・館山北・館山南
				2	5	鴨川・房州白浜・房州朝夷・房総勝浦・夷隅
	23	土	10	2	4	茂原・上総一宮・茂原長生・白子・長南・長柄・茂原中央・茂原たちばな
	24	日	10	2	4	東金・大網白里・九十九里・成東
	30	土	5	3	5	市原・市原南・市原コスモス・市原中央・市原東
			5	2	5	千葉エコー・千葉京葉・千葉若潮・千葉ポート・千葉ゆうきの
			5	1	5	千葉・千葉中央・千葉幕張メッセ・千葉グリーン・千葉ネオ



クラブ活動のページ

1 R

市川東 L C

会長 L . 石橋 義雄

第5回リバーサイド健康マラソン

開催日 平成11年10月17日(日)

会場 市川市行徳橋北詰下江戸川河川敷広場

スポーツの秋たけなわの10月17日、市川リバーサイド健康マラソン大会が市川東ライオンズクラブの主催の下開催されます。毎年の恒例行事であり、今回で5回目を数えます。

江戸川堤の雄大な自然を愉しみながら河川敷を往復する15kmのコースです。

気持ちの良い江戸川の風に吹かれながら汗を流してみてはいかがでしょうか？



○主催 市川東ライオンズクラブ

○主管 市川リバーサイド健康マラソン大会実行委員会

○参加資格 18歳以上の健康な男女で、2時間以内に完走できる人

○参加費 2,500円

○申込期限 99年6月20日～9月20日(消印有効)

○申込先 市川郵便局私書箱64号 市川東ライオンズクラブ

電話 047-334-0011 F A X 047-334-0011

2 R

松戸東 L C

会長 L . 米倉 久三

空前の人出 ホタル観賞会

産卵から満一年飼育し続けたホタルが5月末から6月に入りぞくぞく成虫となり、飼育場内を飛び交うようになった。松戸東ライオンズクラブでは市民ホタル観賞会を6月4日(金)5日(土)開催と決め、広報その他諸準備を進めてきた。

ホタル観賞会は今回で7回目であるが、ホタルを飼育し始めて9年になる。ホタル観賞会開催の目的は、市民の皆さんにホタルを楽しんでいただくと同時に、美しい自然環境の大切さを市民特に子供達に



印象づけることにある。この夜のために、メンバーのホタル飼育委員は1年中暑い日も寒い夜もホタルのエサになるカワニナの採集、増殖につとめ、ホタル

ルの幼虫にカワニナを給餌しその殻を取り除き、常に清流を保ち、温度日照を調節し、その成長を促し成虫になる歩留まりの向上に大変な努力をしてきたのである。

4日5日とも幸いに好天に恵まれ、暑いほどの夜であった。放虫場所は、私立の公園「21世紀の森と広場」の奥まった清水の湧き出るところから深い森の端を流れる小流の茂みである。

開演は暗くなる7時半であるが、1時間ほど前から子供達を連れた若い夫婦が集まってくる。門の前の広場が人で埋め尽くされる。

開門と同時にどっと繰り出した老若男女は神秘のホタルの光を求めて、暗い道を案内に従ってゆっくりと歩む。

小流の叢には光の点滅が眺められ、その光が森の高い木に上がっていく。と思うとまた下がつて来て、手を出せば掴まえられる近さまで飛んで来る。

泉の側の叢には数十匹ものホタルの光の交差、乱舞が見られる。子供やお母さんの驚嘆する声があがる。時の移るのを忘れて感激し、名残を惜しんで帰路につく。

案内のメンバーは子供やお母さんからいろいろ尋ねられる。「ホタルはどうして光るの」と聞かれると返答に詰まる。「なぜ光るの」にはロマンの答え、「どこにいるの」と聞かれれば「水の綺麗な流れに住み、これも綺麗な水が好きなカワニナを食べて大きくなるのよ」と自然環境の保全の大切さを強調する。



入場打ち切りの時間になっても見物人が後を絶たず、大目に見ながら撤収に掛かる。公園からは9時に撤収を終わってほしいといわれているので、メンバー全員一致協力短時間に片付けを終わりほっとする。

入場者は、4日（金）は約1,500人、5日（土）は約3,000人であった。今までに無い大入りにメンバー一同両日の苦労を忘れ、無事終了してその喜びに浸った。5日の夜視察に訪れた川井松戸市長は物凄い人出に驚くと共に、メンバーの労苦に同情を寄せられた。当クラブのホタル飼育にはメンバー以外の市民数人に善意で手伝っていただいているのもACTとしての意義が大きいと思う。

（L.真嶋 誠一）

さつき植栽 200 m

松戸東ライオンズクラブでは、元クラブメンバーであった高橋実氏より寄贈を受けた「さつき成木」600本を、去る2月28日北風の強い寒い日、松戸市「野菊の文学碑」から「矢切の渡し」に通ずる散歩道「野菊のこみち」に沿い、坂川のほとり約200 mにメンバーの手によって植樹した。

さつきの列の間には御影石のガーデンテーブル4セットを配し、散策する方が休憩できるようにした。

更に黒御影の自然石に川井敏久松戸市長揮毫の「緑化清流 爽やか松戸」と彫り込んだ記念碑を建てた。4月24日折りからの豪雨の中、松戸市長を初め関係者が集まり、記念碑前に置いて真島誠一会長から松戸市長に目録の贈呈を行った。



3 R

柏オークライオンズクラブ

会長 L.小澤 克己

2000年1月1日アメリカローズパレード出場記念バンドオブアメリカ&柏市立柏高校吹奏楽部ジョイントコンサート主催

2000年1月1日アメリカで開催されます、世界的に有名な『ローズパレード』に世界200チームの中に日本で唯一柏市立柏高校吹奏楽部の出場が決定いたしました。



柏の誇りである柏市立柏高校吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクールにおいて栄えある3年連続出場を果たすほどの実力の持ち主です。

世界一の歴史と規模を誇る「ローズパレード」に柏市立柏高校吹奏楽部が出場するという事は、吹奏楽を愛する日本中の学生にとっての教育的意義も大きく、また技術の向上を計るとともに、各国青少年との国際交流にも役立つものと期待いたします。

私ども柏オークライオンズクラブは、ジョイントコンサートを主催し、またローズパレードの遠征費用として、金100万円を贈呈いたしました。

2000年1月1日には私どもメンバーも渡米し、沿道より声援を送る予定です。

今後も柏市立柏高校吹奏楽部の素晴らしい活躍をご報告できる事でしょう。



これに先駆け、1999年7月13日にアメリカ高校選抜バンド「Bands of America Honor Band」が来日し、柏市立柏高校吹奏楽部との夢のジョイントコンサートが実現いたしました。

アメリカ高校選抜バンドは、毎年全米中から優れた高校生がオーディションによって選ばれています。1999年度のアメリア高校選抜バンドは今年4月に100名の高校生で結成されました。この100名の生徒は全米18州から集められたNCBF（ナショナル・コンサート・バンド・フェスティバル）で演奏を行いました。NCBFとはBOA（バンドオブアメリカ）が主催するインディアナポリスで行われる吹奏楽大会のことです。



佐原ライオンズクラブ

会長 L.関 謙次郎

『薬物乱用防止キャンペーン実施報告』

佐原ライオンズクラブでは、新年度スタートの日である、7月1日早朝より新年度第1回目のアクトを行ないました。

それは法務省の主唱する『社会を明るくする運動』の全国強調月間にあたり、佐原市の同運動への参加要請により、佐原ライオンズクラブでは、佐原ライオネスクラブも動員して、『薬物乱用防止キャンペーン』を実施致しました。

333-C地区CAB事務局より『薬物乱用防止キャンペーン』用ポケットティッシュを2100個も送付して頂き、ライオンマーク入り薬物乱用防止の旗を掲げ、市内目抜き通りをパレード致しました。好天に恵まれ過ぎて、暑い一日でした。

パレード終了後は、元麻薬取締捜査官の瀬戸智明氏による『薬物乱用防止5ヶ年計画』テーマの講演会が行なわれました。今回の様に、行政と一体となつてのアクトも大変に効果的である事を認識致しましたので、ご報告を致します。

(幹事 大崎 学)



賢せい剣 シンナー マリファナ

「ダメ。ゼッタイ。」

薬物乱用は自分がしなくても他人ではありません！

薬物は一度でも始めてしまうとやめられなくなるんだ！正しい知識を身につけて薬物に手を出さない意志の強さを持とう！

ライオンズクラブ

子どもたちを薬物乱用から守ろうキャンペーン

子どもたちの間に
薬物汚染が広がって中学生・高校生の
検挙者が急増しています。
始めてしまったらやめられない薬物の恐ろしさ
大人がちゃんと責任を持って
伝えましょう。



平成19年度、賢せい剣で検挙された未成年者は
全国で高校生219人、中学生43人、千葉県で高校生23人、中学生4人と急増しています。

ライオンズクラブ国際協会333-C（千葉県）

昨年10万個製作した薬物乱用ポケットティッシュ（図案）

茂原中央LC

会長 L. 並木 和成

七夕祭りうちわ大作戦今年も成功裡に終了

にぎわう茂原七夕祭り(7月23、24、25日)に、各企業名入りのうちわを配りチャリティ募金を行う「うちわ大作戦」も今年で3年目、慣れてきたとはいいながら25名という少ない会員数なので全員が23、24日の2日間、長生茂原心身障害児・障害者親の会、ボーイスカウト、ガールスカウトの協力を得て炎天下で大奮闘、約25,000本のうちわを配布し募金活動を無事終了した。

募金額970,000円のうちわ製作による収益金と合せて約2,000,000円を獲得することが出来た。

内500,000円は障害者福祉センター設立基金として寄贈(3年間の寄贈累計2,400,000円)

残額はクラブ事業資金と合わせて老人福祉、薬害防止、ボーイスカウト、ガールスカウト、YE等青少年健全育成資金に活用。

「うちわ大作戦」とは

茂原七夕祭りを目標に、会員企業はもとより市内各企業に下記要領で協力を願い事業資金を獲得する事業である。

- ・納涼うちわの裏に協賛企業名とクラブ名を入れたうちわを作製する
- ・1口うちわ100本で10,000円(何口でも可)で協賛していただく
- ・協賛企業には希望により30本～50本を贈呈、残りはクラブに寄付していただく
- ・集まったうちわを七夕祭りで配布し善意の募金活動を行う

ちなみに、協賛企業は毎年200社前後、うちわは30,000本位である。

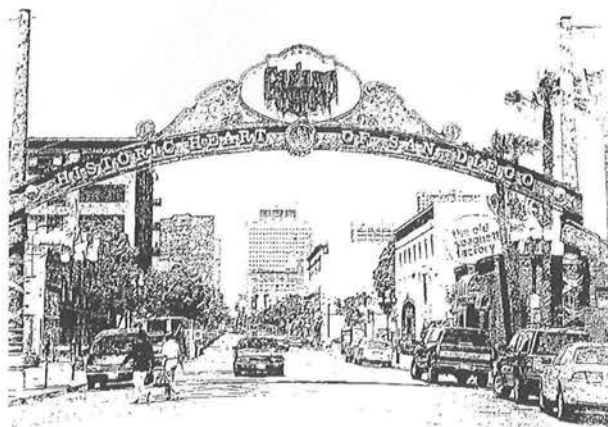


サンディエゴ国際大会報告

地区会員大会参加委員長 (1998 - 99)

L・楠岡 巖

(四街道LC)



サンディエゴの国際大会に参加して

今回参加した第八十二回国際大会は、アメリカのカリフォルニア州・サンディエゴ市で1999年6月28日から7月2日まで開かれた。

同市は近郊を含めて220万人、1542年スペイン領メキシコからこの地に海路でたどりついた、ファン・ロドリゲス・カブリロ率いる探検隊によって初めて発見された。古き良きスペイン時代の面影を残す港町でカリフォルニア発祥の地。高層ビルが建ち並び、大きな軍艦が停泊し、アメリカ最大の規模を持つ、サンディエゴ海軍基地がある。アメリカ最善の都市で治安が良く、1700年代のオールタウンが再現されている。

6月29日、国際大会のハイライトは何と言っても、開会式に先だって行われる、インターナショナルパレードだ。83番目出発の日本のライオン組は、お揃いのシャツに赤い帽子、女性は蛇の目傘を差してのパレードであった。185ヶ国から集まった国際色豊かなライオン家族と市民の応援で、パレードは一層賑わい、9時半から4時間にわたっての華麗なパレードはうす曇りと、浜風のおかげで涼しく爽やかに終了した。

国際大会の現地の登録会場であるコンベンションセンターには多くのライオンが集い、LCIFの受付、世界平和ポスターの入賞作品の展示、ライオンズ用品の販売等、世界中のクラブバッジの交換ブースはマニアで賑わっていた。

開会式は6月30日、サンディエゴのスポーツアリーナで午前9時、パターソン前会長による開会宣告、元国際会長に付き添われて、タイ国出身のカジット・ハバナナダ国際会長夫妻が入場、サンディエゴ観光協会、ペルサ副会長が歓迎のあいさつ、パターソン前会長より記念品が贈られた。

カジット・ハバナナダ国際会長は、「アメリカのカリフォルニアの美しいサンディエゴにおける第82回ライオンズクラブの国際大会にようこそおいで下



ハバナナダ前国際会長 (中央) と楠岡L (右)

さいました。この一年間国際協会の会長を務める事が出来、実に光栄でした。

今年度国際協会の経費を300万ドル削減しました。私は91歳の父親を誇りに思っております。この会場に出席する約束を、去年イギリスのバーミンガムの国際大会で皆さんに約束しましたが、67年間一緒におりました。私の母が3週間前にこの世を去りました。大変難しい決断でしたが、父親は妻の側に居ることと致しました。」と静かに話された。

続いてLCIF、国際財団は中国の障害者連盟に視力ファーストを推進する資金として1530万ドルを交付して、46万7000件以上の白内障の手術をしたが、そのアクティビティの代表者、 Deng・プファング理事長が紹介された。

車椅子で登壇した Deng・プファング理事長は「ハバナナンダ国際会長、ライオンの皆さん、ライオン・レディのみなさん、ライオンズの世界大会で、ヘレン・ケラー女史が盲人の騎士になるように言われました。ライオンズクラブ国際協会は1990年から視力ファーストプログラムを始めて十年がたちました。中国では900万人が失明している。ライオンズクラブ国際協会は、中国の失明者を助ける計画に取り組んでくれています。1997年から2000年迄に効果的に175万人に手術をして失明者に光を取り戻そうとしています。3870人の職員が眼科クリニックで働いています。その様子をビデオやポスター、新聞や



岡野ガバナーと奥様の綾子さん（晩餐会にて）

ラジオ等で全国的にお知らせ活動をしています。1999年5月の第3日曜日、目の記念日に各地で色々なセミナーが開かれ、303香港複合地区の220人のライオンのお医者さんが中国の失明問題を解決するために種を蒔いてくださいました。世界中のライオンの皆さん有り難うございました。」と、お礼を述べられた。

今年度の国際親善大使賞は、アメリカ・オクラホマのロバート・ジャックLほか11名に贈られ、日本では337-A地区、1989年から1990年度地区ガバナーを務められた、福岡県菊田クラブの三原晴正ライオンにハバナナンダ国際会長から贈られた。

開会式が12時に終了後、サンディエゴ湾に面したローズコロナドベイホテルのオープンデッキで岡野次期ガバナーを励ます会が開かれた。

笹本ガバナーご夫妻を始め333-C地区からの総勢70名が出席し、涼風と美しい眺望とマルガリータを楽しみながら多に懇親を深めることが出来た。また、テラスには私が用意した次期ガバナースローガンの大きな垂れ幕を掛けて頂き、その前でグループ毎に岡野次期ガバナー夫妻と記念写真を撮影し、盛り上がりの中に14時30分頃閉会した。

7月2日、コンベンションセンターで午前7時から10時迄国際理事の選挙、会則及び付則改正案の投票が行われた。サンディエゴスポーツアリーナで9時30分、カジット・ハバナナンダ国際会長による開会宣告で、開会式が始まる。

LCIF理事長のハワード・L・パターソン前会長は「1998年から1999年度、LCIFに1600万ドルが寄せられ、1000ドル献金のメルビンジョーンズフェローの献金者は6000人になりました。これはライオンズの会員が誇りに持てることです。メルビンジョーンズフェローの総数は17万2000人以上にな



りました。」と報告された。本年度のクラブメンバー全員が1000ドル献金をしたクラブに贈られる、メルビンジョーンズフェロー・クラブ賞は京都華頂クラブ（会員81名）と福山沼南クラブ（会員34名）、パキスタンのクラブ、インドのクラブ四つのクラブが賞を受けた。クラブ員全員が既にメルビンジョーンズフェロー・クラブ賞をいただいたクラブがさらに続けて全員がプログレッシブ献金した奈良ウエストライオンズクラブ（会員65名）、京都洛中ライオンズクラブ（会員53名）にプログレッシブ・メルビンジョーンズフェロー・クラブ賞が贈られ、LCIFがはじまってから122クラブになった。

人類の繁栄に貢献があった人に贈られる権威ある、1999年度のライオンズ人道主義大賞がタイ国のプミポン・アドゥンヤデート国王が受賞し、副賞として20万米ドルの小切手が贈られた。国王は会場に来られないので、タイ国での贈呈式の様子をビデオで上映して報告された。

選挙の投票結果がエドワード・コージー元国際理事より「1991年に国際会費を2ドル値上げして以来、値上げをしていません。手遅れになる前に、必要な決断をしたいのです。国際会費3ドル値上げの件は可決、決定しました」と報告された。

国際理事に日本から福井、竹内両理事が当選、昨年当選した大野元昭国際理事と合わせて3名になった。

ライオンズクラブ国際協会の第一副会長にフランス出身のジャン・ベアール氏が当選。第二副会長はアラバマ出身のフランク・ムーア氏が当選しました。第82代国際会長にアメリカ・ジョージア州アルバニークラブのジェームス・E・アービン氏が当選と発表され、プラスバンドの行進や会長のポスターを持ったメンバーで会場は大にぎわいでした。

ジェームス・E・アービン国際会長と家族が入場。



アービン新国際会長ご夫妻

お母さんは車椅子で、12人の家族が国際大会の舞台上に上り、会場から大きな拍手が起こった。

国際会長に当選のお祝いメッセージが、アルバニー市長、ジョージア州知事、下院議会、薬物乱用防止団体、ジミー・カーター元大統領、ホワイトハウスからはクリントン大統領のお祝いのメッセージが披露された。

孫のケーリー嬢から「今日私はライオンズクラブ国際協会の次期会長を紹介します。私にとってはパパと呼んでいる人です。12歳だから沢山のことを覚えてはいないけれども、パパのビジョンは協会の為になると思います。」と国際会長に当選のメッセージを発表された。

ジェームス・E・アービン国際会長は「お礼を言いたい人がいます、キリスト教の神様、18複合地区のライオンズの皆さんにお礼をいいます。そして母は奉仕の大切さの手本を私に教えてくれました。息子たちや、孫たちにもお礼を言いたいと思います。妻のベティーは私の翼になってくれています。愛情を



インターナショナルパレードで沿道の市民に手を振る岡野ガバナー



準備はオッケー？ 出番を待つ日本蛇の目傘部隊

持って何時でもサポートしてくれると思います。共に力を合わせて、私のビジョンや視力ファーストプログラムを通して、世界中のニーズに答えることは、容易なことではありませんが、皆さんと共に頑張ります。

1917年、メルビンジョーンズがライオンズクラブの組織をはじめた時からのビジョンは明日からはじまります。将来を作り出すことは過去に甘んじることでは出来ません。「後を振り返る」「合せあうこと」を共通のビジョンにしましょう。また共通の責任として、クラブ員が最低一人会員をスポンサーしましょう。会員増強についての話は毎回例会で審議すべきです。女性の会員は地域社会に奉仕をしています。

世界185ヶ国でライオンズの会員は140万人以上の中で15万6000人の女性メンバーではあまりにも少なすぎると思います。すぐれた女性メンバーを入会させないと別の組織に入ってしまう。1999年7月から2000年の6月末日までに8人を入会させますと、新世紀クラブアワードを、21世紀賞はホノルルの第83回国際大会に各会則地域から3人のメンバーを無料招待します。

アービンは13歳の時、角膜の手術をして視力を取り戻し見えるようになりました。高校生の時、薬物使用で退学させられそうにもなりました。先生がアルコールや薬害の恐ろしさを教えてくれました。だから今の私があるのです。私が最初にはじめたボランティアはホームレスの人たちのために衣料を集める事でした。

国連の代表としてロブросキー元会長から、アービン国際会長の誕生を祝って国連の旗がプレゼントされた。非政府のライオンズクラブのはたす役割は偉大であります。

今年は視力ファーストがはじまって10周年です。



宿泊ホテル前のビーチ

10月第2木曜日を視力デーと決めました。青少年は確かな愛情を待っています。子供たちに自立の翼を与えましょう。青少年にボランティア精神を教えましょう。青少年の話に耳を傾けましょう。耳を貸しましょう。子ども達を守ることは自分を守ることで。地域社会のニーズに耳を貸してそれに答えて下さい。ライオンズクラブは融通性を持って活動して下さい。地元のニーズは毎年変わると思います。世界のあらゆるクラブと相談して良い活動をして下さい。効果的な広報機関とより積極的に連絡を取り、地元の人たちにクラブの存在を知らせるために、大いに広報活動を進めて下さい。」と挨拶された。

12時20分、いよいよ世界中で740人の地区ガバナーの誕生の時が来ました。6月22日のシカゴの国際本部を表敬訪問した時からのガバナーエレクトのリボンを、それぞれの地区代表から取っていただき、333-C地区は岡野ガバナーのご要請により不肖私が担当させて頂いた。晴れて1999年から2000年の地区ガバナーとして、一年間地区内のクラブの運営にあたられるのです。誠にありがとうございます。

今回の大会でフィラデルフィアの国際大会で会った東京関東ライオンズクラブの元会長、野ロライオン、ゾーンチェアマンの小田島ライオンと同じホテルであった事、開会式、閉会式の会場が近くであった事、アメリカの二世のライオン歴51年のメンバーと会えた事、オーストラリアのメンバーと又アメリカのカリフォルニア4-2A地区の前ガバナー夫妻にも会えました。7月17日から日本の330-A地区からのYE生を受け入れてくれるそうで、話がはずんだこと等が印象深かった。

帰国してからYE生の自宅に連絡してあげ、大変喜ばれた。私は毎回、A4サイズの布製の日の丸を沢山持って行き、とても喜ばれています。又今回は7月号のライオン誌を見ないで出発したガバナーに、本を見ていただくために東京事務所を訪ねて7月号のライオン誌を10冊お預かりし、アメリカで岡野地区ガバナーを通して国内の8複合の代表地区ガバナーにお渡しいただき喜ばれた。

1994年、アメリカ、アリゾナ川フェニックスで開かれた国際大会が非常に熱かったのでお祭りの「うちわ」を沢山持参したが、気温20度であったので今いちであった。大会参加の報告書を書くためにも会場には早く行って、同時通訳のレシーバーを借りる事からはじめました。

地区内メンバー各位の健康とウィサーブの更なる発展をお祈りして終わりとします。

日系二世のイセリライオン との出会い

L・楠岡 巖（四街道LC）

今回アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで99年6月28日から7月2日まで開かれた、ライオンズクラブ国際協会第82回国際大会の際に、日系二世のイセリ・ジョウジ夫妻に、サンディエゴのミッションバレーにある、日本レストラン葉山で6月28日、四街道クラブの林ライオン、後藤ライオン、ライオン楠岡と夕食を共にすることが出来た。



イセリライオンご夫妻（手前）

イセリさんとは、思いがけない縁あつての巡り合わせであった。話は先月、私の孫、竜太郎の友人家族が我が家を訪れることから始まる。我が家の古い蔵を写真におさめたいという。この家族が実は、イセリさんの友だちであったのだ。4月に沼南町から四街道市に移転されたばかりの孫の友人フローラーちゃんのお父さんというのは、アメリカ人でプロの写真家のホワイトさんであった。

私は、彼に初めて会った時、今回のライオンズクラブの国際大会が聞かれるアメリカのサンディエゴ行きを伝えた。地図を開き、話が盛り上がる中で、ホワイトさんは友人でもありライオンズのメンバーである日系人のイセリさんのことを思い出す。と同時に、自宅のコンピューターでサンディエゴの大会本部に連絡することを約束してくれた。数日たっても本部からの連絡がなかったので、ホワイトさんはイセリさんの息子さんのケリーさんに連絡をとってくれた。

翌日、早速、彼からの返事に、ケリーさんのお父

さんであるイセリさんがライオンでサンディエゴの国際大会に行くということを知らされた。

やったあ……私は飛び上がって喜んだ。

私は旅程表をファックスで送ると同時に、ライオンズの活動及び尋ねたい事を国際エクスプレスメールで、オレゴンのイセリライオンに送る。4日後、「貴男からのファックスとメールを受け取りました」とメッセージがファックスで届く。

イセリさんのお父さんは1900年（明治33年）16歳で熊本からアメリカのシアトルに渡り、1920年（大正9年）にイセリさんは生まれたそうです。戦争中は肩身の狭い思いで、遠くの収容所に入れられ苦しんだということでした。

「1945年（昭和20年）8月15日戦争が終り、1948年（昭和23年）28歳でオンタリオクラブに入会、当時の日系二世が3人。それから5、6年は白人と日系人の気持ちが白黒のように違い、とても気持ちが悪かった事を今でも思い出します。

それから51年間在籍していますが、その内で43年間100%出席している、36年前に会長をやりました。日系のメンバーがいなくなってしまい一人になり寂しい」と彼は話された。今までに93回来日されているだけに、日本の心は忘れぬ彼であるが、現地においても地元のオンタリオ（人口約1万人）で市議会委員を9年勤める等大活躍されている。

イセリさんのお父さんはオレゴンからオンタリオに来て、玉葱、ポテト、砂糖大根、はつか大根の種の生産で成功した。そういった日系人が2400人も各方面で活躍をしている。日本人の多い町の1人で、彼の事務所の二階をクラブの例会場に提供しているそうです。



Peace International Poster Contest, 1998-99
"Planting the Seeds of Peace"
Grand Prize Winner: Peace by André de Villiers, age 13
Sponsored by the Somerset West Lions Club

楠岡Lならではのお土産：記念ポストカード（平和の種を植えよう）

「アメリカのライオン達はクラブ歴が古くなって来ているので年老いたメンバーが多く、金が出せない。日本のライオンは一生懸命に奉仕活動をしてくれているので本当にえらいです。私はLCIFに4回1000ドルを献金しました。」「クラブの活動は薬害防止運動、アイバンク、花火大会やスポーツ大会のお手伝いや援助等している。

2000年日本に行くYE生は日本語の勉強を一生懸命していますが、アルバイトやサッカーが忙しいと言って3週間で帰って来てしまう、わがままでこまっています。日本にYE生が以前より行かなくなったので、日本からのYE生も少なくなった。」

バイタリティーある79歳のイセリライオンはおばあちゃんとインターナショナルパレードに参加していた。「オンタリオからスネークリバーを渡ると、アイダホです。スネークリバーにはマス、タラ、ブラックバスがいます。アイダホのライオンは、アイバンク、視力ファーストの活動を良くやっています。ア

メリカにある西本願寺の理事を20年程務め、理事長を1年やりました。アメリカの人はクリスチャンなので、お寺は関係ないと言って拝みません。日本人の二世達は一生懸命に拝みます。」

私はイセリさんにライオン誌を12冊と日本の旗、ライオンズ必携、用語の達人とライオンズの誓い、四街道クラブのパナーやピンを用意してお土産にした。閉会式の会場でお会いすることが出来ず残念でしたが、来年アメリカハワイ州ホノルルの第83回国際大会で会うことを約束していたので次回が楽しみです。

国際大会には世界185ヶ国から2万人以上のライオンと家族が参加した。多くのライオン達と国境を越えた、まさしく世界は一つ、友情を深め、ふれ合い、奉仕の心をより強く感じ取り、お互いにハワイの国際大会で会いましょう、を合い言葉に特別楽しい思い出を一杯作ることが出来、稔りの多いサンディエゴでの国際大会でありました。

「国際大会に参加して思うこと」

2 R 1 Z

L. 石井 恵雄 (松戸南LC)

第82回LC国際大会が、アメリカ西海岸で有数のリゾート地であり又、アメリカが誇る世界最大の海軍軍港のある、サンディエゴにおいて'99年6月29日のパレードを皮切りに例年のごとく華やかに開催された。

85番目のスタートと言うことで待ち時間が長く予定を一時間過ぎて動き出す気配すらなく、疲れもピークに達した頃、やっと行進が始まる始末。沿道の群衆の声援を受けながらのパレード行進も、何となくチンタラ行進になるのは年輩者が多いせいかな。それでも審査員席前を通過するときは、隊列に気を配りフィニッシュする。

ただスタートが遅れたお陰で他国のパレードを見ることが出来た利点はあるが。いつもながら他国の華やかなること、色とりどりの民族衣装に身を包み、マーチングバンドを先頭に色彩と音との演出は見事である。反面、我々日本は、男女とも赤襟の白いTシャツに、黒いズボン、白いスニーカー、赤い帽子、女性は手に赤い日傘と、よく言えばシンプルな日の丸スタイル。

数年前の女性が揃いの浴衣と日傘でのコンテスト上位入賞以来、我が日本Lは審査員の対象から外れ



続けているので、次回は何とか演出にひと工夫欲しいものである。

年に一度のお祭りだから、各人がどのように過ごそうとも、それは個人の自由であるが、パレードか開会式はともかく、閉会式に参加しない代議員が年々増えているのも又、事実である。参加しない最大の理由の一つに旅行社が企画するオプションツアーがある。

古いことは分からないが、ここ数年国際大会参加

者の実数そのものが、日本L事務局はもとより地区キャビネットも、更に旅行社自体が把握できないそうである。数年前までは330-Aより337-Oまでの会参加者に近い実数の名簿が統括する旅行社より事前に届けられ、懐かしい名前を発見して、現地での再会を楽しみに名簿を捲った物であるが、四大旅行社の他に新参の旅行社の参入が激しく又、個人の渡航者も増えて、実数の把握はますます困難、と言うより不可能であると聞きおよぶ。

どのような手法で渡航しようと、これ又自由で決して悪いことではないが、折角登録した代議員の権利、義務を行使することなく、次なるオプションへ出立、又帰国してしまう人が多く、先日の日本夕食会に於いても、現国際理事が挨拶の中での開口一番、必ず投票するよう声を大にして訴えていたのも頷けるのである。代議員たる物、投票は朝7時より行っているの、最低の義務だけでも果たして、次なる計画に移って欲しいものである。

私自身、数年前の大会の折に、朝一番の投票後直ちにオプションツアーに参加してしまい、帰国後の例会報告の中でその年度の決議事項が報告できずに、大汗をかいた経緯がある。各旅行社が企画する過密なるスケジュールが閉会式の時間帯に喰い込み、最後まで閉会式を見届けることなく、出立してしまうことが最大の減少要因と思われる。よって閉会式の時間帯を無視したスケジュールを企画する旅行社に、その責任は大いにある。

当日は大体昼頃までに終了するのであるから、旅行社は大会の趣旨を充分に理解した上で、支障を最小限に押さえたオプションを企画すべきである。反面、近年数社の旅行社の参入により、統括旅行社の独壇場であった大会参加費が安くなった功績もあるにはある。依然旅行社より雑費、経費の負担増を理由に値上げの要請があったが、今は遠い昔話になってしまった。

私は数年前、ブラジルのA・ソリバー元国際会長誕生の場を思い出す。陽気なお国柄の国民性とはいえ、国を挙げての祝典しているかのように大挙して押し寄せてきたかと思ふ一団によって、会場全体でサンバのリズムと踊りが延々と続き次なる議事の進行が妨げられてしまった場面を思い出す。

祝事もここまで来るとはた迷惑なところもあるが、仮に将来、日本Lより二代目の国際会長が誕生した場合、果たしてどれほどの祝意が表せるだろうか、はなはだ疑問である。それは各種アワードの表彰者(日本Lが圧倒的に多い)や日本の新しい国際理事誕生の瞬間にも、日本Lに対しての拍手の少ないのは

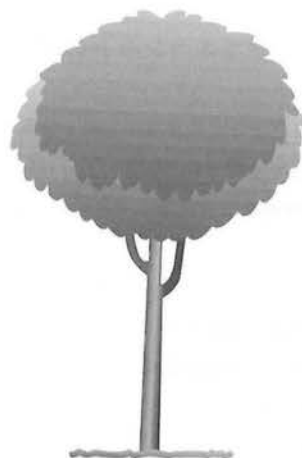
以前から変わらない事実である。それはあの広い大会会場に日本Lが終結せず各自バラバラに着席してしまうのも原因の一つかも知れない。

以上極論を申せば、パレード中や開会式も重要であるが、仮に欠席しても閉会式には出席して、その毎度の決議事項を聞き、そして見届けることが大事ではないか。更には新ガバナー誕生の瞬間を見届けるのも、出席した代議員のつとめであり、新ガバナーに対する最大の祝意だと私は思う。このところ2,3年ガバナー誕生の瞬時は寂しい限りであっただけに、多くの仲間の見守る中、祝福されて就任するのでは、この先大任に取り組むガバナーの意気込みも異なってくると思うのだが、いかがなものか。

最後に余談ではあるが、開会式、閉会式ともに同時翻訳機は少し早めに行って必ず借りた方がいい。クレジット・カード一枚(アメックス・VISA)を担保に2台ないし人によっては4,5台貸し出してくれる。会議全体の流れを知る上でも絶対必要である。

ついでにもう一つ、閉会式終了後、正面舞台の袖に山積みになっているつい先刻まで使っていた、新国際会長又、次期国際会長のポスターを頂戴して、クラブや事務局へ配布すると金のかからない生きた土産として最高である。ただしポスターを剥がすのに、ホッチキスで止めてあるため、ニッパーが必要である。

次年度83回大会はここ数年の開催地と比べて距離が半分から3分の1近くの、日本人には人気のハワイ、ホノルルなので参加しやすくより多くの日本Lが参加して、新ガバナーの誕生を祝おうではないか。そして日本Lの偉力を世界にアピールしよう。



自動車のモデルチェンジは難しい。フルモデルチェンジした直後はメカニクは粗削りでも基本コンセプト・デザイン等がしっかりしていてそれなりのバランスをもっている。それがマイナーチェンジを始めると全体のバランスが崩れておかしくなってくる。

地区ニュース編集もそうだと思う。去年は委員会担当の印刷物が多く大変だったが、関口委員長のもとで一貫した主張のある良いものが出来たと自負している。

今期、地区ニュースの形式は前年踏襲。編集2年目の自分が委員長になり少しは余裕が出てくると思っていたら大ハズレ。確かに時間的余裕はあるのだが、寝食を忘れ無我夢中でやっていた去年のあのエネルギーが出てこない。「燃え尽き症候群」といえばかつていいが、LCメンバー諸兄のどなたにも経験のあることではと拝察申し上げる。

そのエネルギーレベルの低下を技術的なテクニックでカバーしようとしたら無理が出てきた。

いくら編集が好きといっても所詮本業は金型屋のオヤジ。ここら辺が限界か。

しかし、世の中がうまくできているのか、岡野ガバナーのご人徳か、パワー不足の委員長に輝く笑顔のムードメーカー波木泰美副委員長、実務派の千本・鹿野両編集委員、浦安シーサイドLCのホームページ開設の立て役者である野垣戸L、成田CABで塚田委員長と苦勞を共にされ経験豊富な大嶋Lはじめ優秀な委員会メンバーに囲まれ、偶数月の第1月曜日に定例編集会議を持つことや、地区ホームページ作成などがどんどん決まり今年もなんとか任務を全うできそう。

さらに幸いなことに委員長は楽天的でプラス思考のB型人間。ゴルフなどでは力まない状態の方がいいショットが出るそうなので力のぬけた今年は昨年度以上の地区ニュースができるかもしれない、などと考えている。キャビネット、地区委員会、各クラブのみなさんにはどんどん地区ニュースとPR委員会をご活用いただきたいと思う。

目次

ガバナーからのメッセージ

地区ガバナー L. 岡野 正義

ご挨拶、国際会長の年間テーマ

ガバナー方針（運営目標）..... 1

巻頭特集その1

333-C地区 統一テーマ活動

「水辺のクリーン作戦」..... 4

水辺のクリーン作戦への準備

「環境保全セミナー開催」..... 6

巻頭特集その2

MAKUHARI 2000 ビデオフェスティバル..... 14

追悼・故L飯塚一郎元ガバナー..... 17

ライオンズインフォメーションのページ..... 18

ご挨拶..... 22

リジョン・チェアマン 今年度の方針・抱負..... 24

地区委員長 今年度の方針・抱負..... 27

地区運営特別検討委員会発足..... 32

資料のページ..... 33

333-C地区現況報告..... 33

第一回キャビネット会議議事録..... 34

付属会議報告..... 38

議事運営委員会議..... 39

付属会議提出議案採決..... 40

決算報告書..... 41

会計報告書

一般会計..... 41

年次大会会計..... 42

青少年育成資金会計..... 43

新年度予算書

一般会計予算書..... 44

青少年育成資金会計予算書..... 45

地区行事予定表..... 46

ガバナー公式訪問日程表..... 47

クラブ活動のページ（1R～10R）..... 48

巻末特集

サンディエゴ国際大会報告..... 53

目次..... 60

ライオンズクラブ国際協会

333-C地区ニュース Vol. 1

発行日 1999年8月25日

発行者 ライオンズクラブ国際協会 333-C地区

地区ガバナー L. 岡野 正義

〒260-0025 千葉市中央区問屋町1番55号

TEL 043-243-2528 FAX 043-247-4756

編集者 ◎L吉原稔貴 ○L波木泰美 ○L千本芳秀

○L鹿野國秀

印刷所 文陽堂印刷紙工株式会社 tel. 047-325-1611

（レイアウト 倉本忠幸）